


インフロニア・ホールディングス
25年3月期 第3四半期 アナリスト向け決算説明会



February 12, 2025

1. 経営環境認識
2. 決算サマリー
3. 資本戦略・還元方針
／FY24 3Q時点の実績と通期見通し
4. インフロニア・ホールディングスの業績数値
【推移・前年比】
5. セグメント別 業績数値の前年比
6. 手持工事高、受注高、受注時利益率の推移
【建築、土木セグメント】
7. FY24一般管理費 増減の主な要因
8. 連結貸借対照表の主な増減の要因
9. 資本戦略と株価の推移
10. 社債型株式発行による財務指標等への影響

= Appendix =

セグメント別 ハイライト（個別）


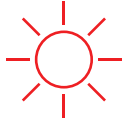

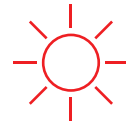

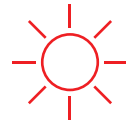



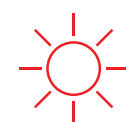
1. 建築セグメント
2. 土木セグメント
3. インフラ運営セグメント
 1. 前田建設工業
 2. 日本風力開発
4. 舗装セグメント
5. 機械セグメント

FY24 3Q実績とFY24通期計画

1. 前田建設工業
2. 前田道路
3. 前田製作所
4. 日本風力開発
5. 主なグループ会社

補足資料

市場環境や受注環境、資材価格等に関する当社の認識、対応

セグメント	市場	当社の状況	市場認識と当社の取組み
建築			<p>市場：建設投資額は増加傾向だが、物価上昇に伴う建築コスト高騰の影響が大きい。着工床面積で見るとほぼ横ばい</p> <p>当社：設備・電気工事会社の労務不足が顕著であるものの、協力会社の見通しをつけ計画的に応札している。受注は概ね計画通りで、受注高・受注時利益率ともに達成確度が高い</p>
土木			<p>市場：政府投資が需要を牽引。民間投資も拡大傾向。請負契約額は堅調 土木工事費は緩やかな上昇</p> <p>当社：国交省・防衛省の強靱化計画を始めとした公共建設投資は引き続き旺盛。再エネ、カーボンニュートラル、バックエンド事業他の民間設備投資も堅調。受注・施工体制の整備に注力。通期目標値達成を見込む</p>
インフラ運営			<p>市場：再エネはグリーン電力需要が増加し、今後環境価値の向上が見込まれる 官民連携はアリーナやウォーターPPPが本格的に案件化</p> <p>当社：上流からの提案とパートナー戦略により着実に成果 確実な収益実現を目指す</p>
舗装			<p>市場：道路事業費は2010年度以降横ばい、アスファルト合材出荷量は減少傾向</p> <p>当社：受注時利益率の改善と適正な価格設定により利益率改善の見通し</p>
機械			<p>市場：公共投資が堅調に推移しており、回復傾向がみられる</p> <p>当社：原価が高騰したものの、適正な価格転嫁により売上総利益は回復</p>

2. 決算サマリー

会社	セグメント	決算サマリー
インフロニア		<ul style="list-style-type: none"> FY24 3Q実績は、前年同期比で増収減益。通期では再生可能エネルギー事業の売却延期により事業利益が予想より111億円減少し、479億円になる見込み（未実現利益の影響もあり） 一方、当期利益は投資資産の評価益計上により直近の予想からは54億減少するが、前期比では4億円増の330億円となる見込み
前田建設	建築	<ul style="list-style-type: none"> 3Q実績は、前年同期比で大幅に増収増益 通期個別の利益は過去最高の見込み（売上総利益322億円、営業利益126億円） HD連結では大洲バイオマスの売却延期により、297億円の見込み（連結調整▲31億円）
	土木	<ul style="list-style-type: none"> 3Q実績は、特殊要因により大幅な利益増となった前年の同期比で減収減益 通期個別では売上高、利益ともに計画達成の見込み HD連結では大洲バイオマスの売却延期により、273億円の見込み（連結調整▲7億円）
	インフラ運営	<ul style="list-style-type: none"> 上半期でアリーナ案件3件獲得、3Qでは包括的民間委託2件、PFI事業1件獲得 来期はウォーターPPP案件に入札予定。蓄電池事業を含む再エネ案件開発にも注力 大洲バイオマスの売却を来期以降に延期したため、連結の通期見込みを事業利益▲5億円に下方修正
日本風力開発		<ul style="list-style-type: none"> 今期、3案件の売却を計画していたが、着工時期の変更により、1案件の売却に変更 売却益は13億円の見込み（▲25億円）、連結の通期見込みを事業利益▲14億円に下方修正
前田道路	舗装	<ul style="list-style-type: none"> 3Q実績は、前年同期比で増収増益 通期は、建設・製造事業共にHD体制移行後、売上および利益で最高額となる見込み
前田製作所	機械	<ul style="list-style-type: none"> 3Q実績は、前年同期比で増収増益 通期は、売上高および利益額において計画達成の見込み
その他		<ul style="list-style-type: none"> 3Q実績は前年同期比で増収減益 通期は、売上高および利益額において計画達成の見込み

3-1. 資本戦略・還元方針／FY24 3Q時点の実績と通期見通し

株主還元

- 1株当たりの配当額60円（中間30円+期末30円）を予定（配当性向47.4%を見込む）

政策保有株

- 3Q時点で約116億円売却、通期目標の純資産割合20%以下を達成見込み

Medium-term Vision 2024 (2025年3月期までの中期経営計画)			FY23末時点	FY24 3Q時点 通期予想	備考
資本効率	ROE	9.5%	8.6%	7.6% (通期)	-
最適 資本構成	自己資本比率	30%以上	28.4%	34.9% (3Q) 35.3% (通期)	日本風力開発の子会社化に係る資金調達により有利子負債が増加したが、FY24は社債型種類株式発行により改善
	D/Eレシオ	0.6倍以下	1.1倍	0.88倍 (3Q) 0.82倍 (通期)	
株主還元	配当性向	30%以上	46.0%	47.4% (通期)	1株当たり配当額 60円を予定 (中間30円+期末30円)
	自己株式の 取得	FY24までに 400億円以上	FY21~23 累計400億円	-	FY23時点で中期経営計画の目標を前倒しで達成
	総還元性向	-	78.4% (自己株式の取得を含む)	47.4% (通期)	FY24通期計画 配当性向47.4%
資産 効率化	政策保有株/ 純資産割合	20%以下	25.8% 株価上昇の影響	16.4% (3Q) 15.0% (通期)	3Q時点で約116億円売却 通期でも保有比率20%以下を達成見込み 売却方針はP.5参照
	保有資産の 売却	グループ保有資産の利用状況等を精査し、非効率な資産の売却・統合を実施			

**政策保有株式
の売却方針**

今期目標 前田建設保有分を**250億円以上売却**（対純資産保有率を20%以下）

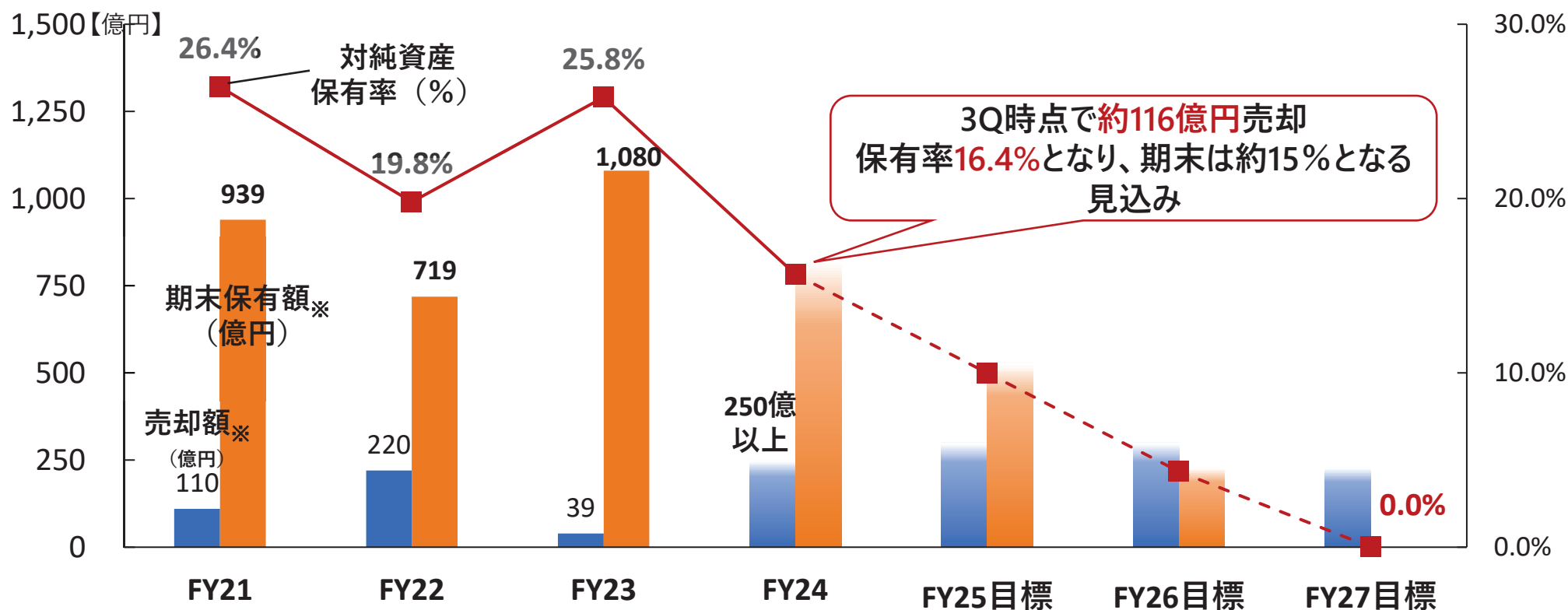
最終目標 2027年度までに**インフロニアグループ全体でゼロ**とする

**売却による資金
の分配方針**

財務規律と資本効率を意識した分配を実施

→具体的な分配方針は**次期中期経営計画までに決定次第公表**

インフロニアグループ 政策保有株式売却額と対純資産保有率の推移

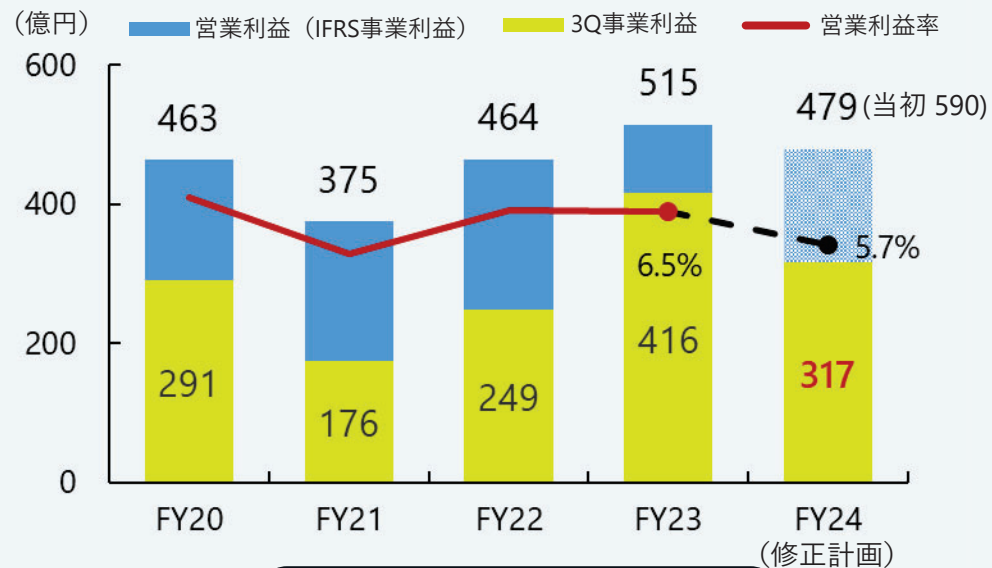


※期末保有額及び売却額の株価は年度末の時価評価額

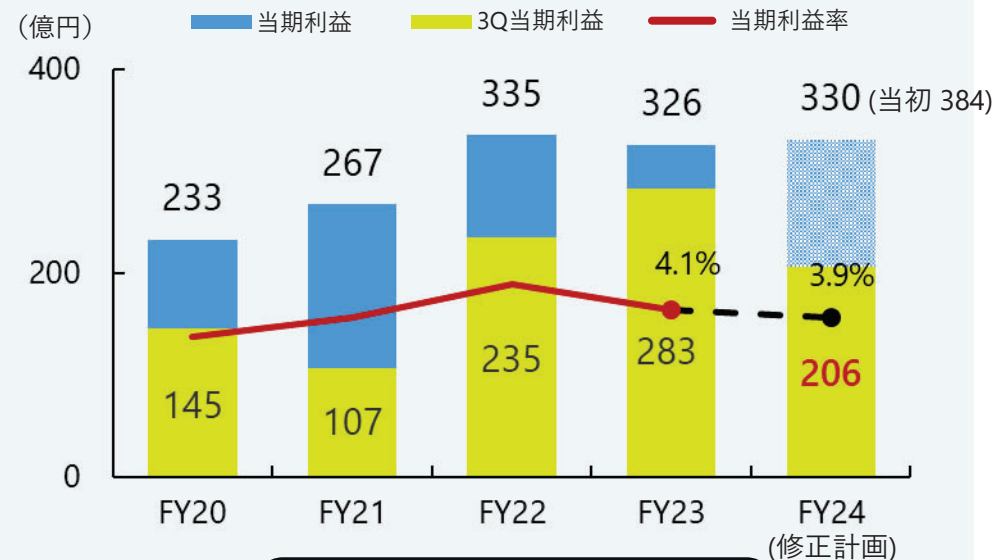
4-1. インフロンニア・ホールディングスの業績数値の推移

- 事業利益、EBITDAは微減したものの、当期利益は前期比増

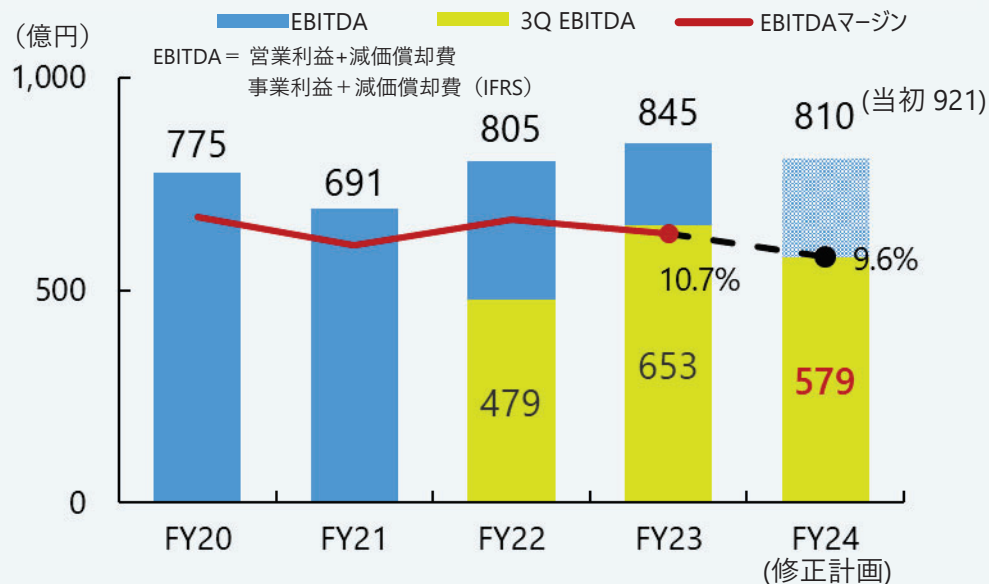
営業利益/事業利益



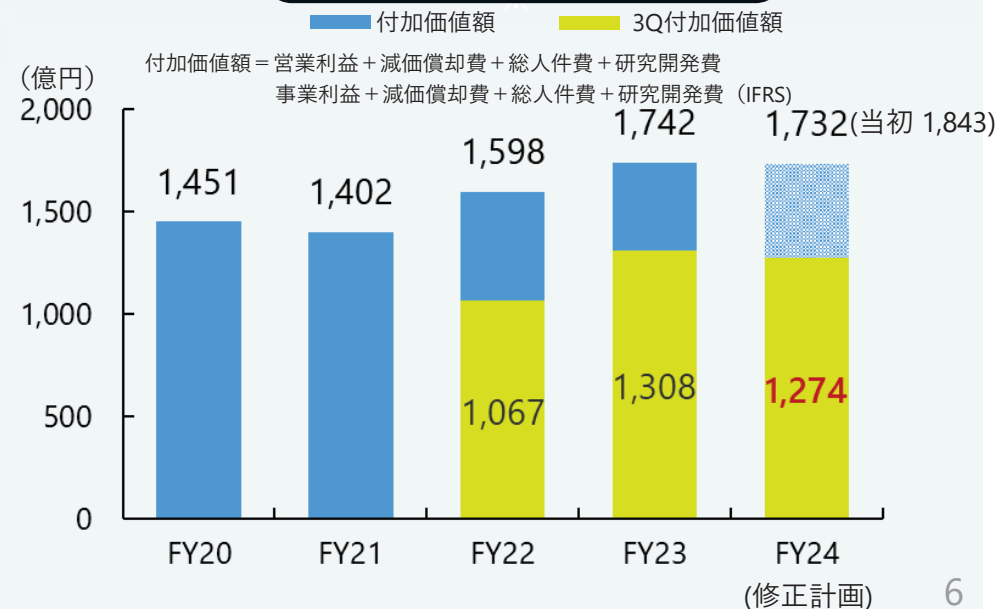
当期利益



EBITDA



付加価値額



* 通期実績値：FY22よりIFRS基準による数値 * 3Q実績値：FY23よりIFRS基準による数値

4-2. インフロンニア・ホールディングスの業績数値の前年比

- FY24 3Q実績は、**前年同期比で増収減益**。通期では再生可能エネルギー事業の売却延期により事業利益が予想より111億円減少し、479億円になる見込み（未実現利益の影響もあり）
- 一方、当期利益は直近の予想からは54億減少するが、投資資産の評価益計上により前期比では4億円増の330億円となる見込み

(億円)

	第3四半期				通期			
	FY23 3Q実績	FY24 3Q実績	前年 同期比	進捗率	FY23 通期実績	FY24 当初計画	FY24 修正計画 3Q時	前期比
売上高	5,700	6,044	344	71.7%	7,933	8,399	8,432	499
売上総利益	832 (14.6%)	794 (13.1%)	△38	69.8%	1,119 (14.1%)	1,251 (14.9%)	1,137 (13.5%)	18
一般管理費	427 (7.5%)	485 (8.0%)	58	72.0%	621 (7.8%)	677 (8.1%)	674 (8.0%)	53
EBITDA	653 (11.5%)	579 (9.6%)	△75	71.4%	845 (10.7%)	921 (11.0%)	810 (9.6%)	△35
事業利益	416 (7.3%)	317 (5.2%)	△99	66.2%	515 (6.5%)	590 (7.0%)	479 (5.7%)	△36
その他の収益	6	11	5	—	17	12	12	△5
その他の費用	7	16	9	—	21	12	14	△7
営業利益	415 (7.3%)	312 (5.2%)	△103	65.4%	511 (6.4%)	590 (7.0%)	477 (5.7%)	△34
金融収益	23	59	36	—	30	0	79	49
金融費用	18	38	20	—	47	23	62	15
当期利益 ^{※1}	283 (5.0%)	206 (3.4%)	△76	62.5%	326 (4.1%)	384 (4.6%)	330 (3.9%)	4
自己資本	3,785	5,022	—	—	3,999	4,193	5,145	—
ROE	—	—	—	—	8.6%	9.0%	7.6%	—
ROIC	—	—	—	—	4.0%	—	—	—
WACC	—	—	—	—	3.7%	—	—	—
EPS	—	—	—	—	130.5円	148.6円	126.6円	—

※1 親会社の所有者に帰属する当期利益

5. セグメント別 業績数値の前年比

INFRONEER Holdings Inc.

(億円)

	FY23 3Q実績	FY24 3Q実績	前年 同期比	進捗率	FY23 通期実績 ①	FY24 通期計画			前期比 ③-①
						当初計画 ②	修正計画 3Q時 ③	差 ③-②	
売上高	5,701	6,044	343	71.7%	7,933	8,399	8,432	33	499
建築	1,802	2,193	391	70.3%	2,737	2,933	3,118	185	381
土木	1,269	1,019	△ 250	70.7%	1,624	1,503	1,442	△ 61	△ 182
舗装	1,873	1,950	77	74.3%	2,518	2,570	2,624	54	106
機械	296	308	12	75.3%	398	409	409	0	11
インフラ									
MK	127	179	52	74.2%	173	322	241	△ 81	68
運営									
JWD	-	38	-	60.3%	11	87	63	△ 24	52
その他	334	357	24	66.8%	472	575	535	△ 40	63
売上総利益	832 (14.6%)	794 (13.1%)	△ 38	69.8%	1,119 (14.1%)	1,251 (14.9%)	1,137 (13.5%)	△ 114	18
建築	122 (6.8%)	204 (9.3%)	82	68.5%	224 (8.2%)	313 (10.7%)	297 (9.5%)	△ 16	73
土木	360 (28.4%)	196 (19.2%)	△ 164	71.8%	424 (26.1%)	280 (18.6%)	273 (18.9%)	△ 7	△ 151
舗装	244 (13.0%)	270 (13.8%)	25	74.3%	311 (12.3%)	363 (14.1%)	363 (13.8%)	0	52
機械	63 (21.3%)	67 (21.9%)	4	72.6%	85 (21.4%)	93 (22.7%)	93 (22.7%)	0	8
インフラ									
MK	17 (13.4%)	15 (8.6%)	△ 2	40.1%	29 (16.6%)	114 (35.4%)	38 (15.9%)	△ 76	10
運営									
JWD	-	11 (28.1%)	-	43.3%	6 (55.3%)	41 (47.1%)	25 (39.1%)	△ 16	19
その他	27 (8.0%)	31 (8.7%)	5	65.1%	40 (8.5%)	47 (8.2%)	48 (9.0%)	1	8
事業利益	416 (7.3%)	317 (5.2%)	△ 99	66.2%	515 (6.5%)	590 (7.0%)	479 (5.7%)	△ 111	△ 36
建築	△ 9	70 (3.2%)	79	57.7%	43 (1.6%)	136 (4.6%)	122 (3.9%)	△ 14	79
土木	271 (21.4%)	104 (10.2%)	△ 167	72.9%	296 (18.2%)	152 (10.1%)	143 (9.9%)	△ 9	△ 153
舗装	134 (7.2%)	150 (7.7%)	16	76.1%	148 (5.9%)	197 (7.7%)	197 (7.5%)	0	49
機械	16 (5.6%)	19 (6.1%)	2	81.2%	19 (4.7%)	22 (5.4%)	23 (5.6%)	1	4
インフラ									
MK	△ 3	△ 9	△ 6	-	△ 2	69 (21.4%)	△ 5	-	△ 74
運営									
JWD	-	△ 19	-	-	△ 2	1 (1.1%)	△ 14	-	△ 15
その他	6 (1.9%)	2	△ 4	-	12 (2.6%)	13 (2.3%)	13 (2.4%)	0	1

※MK：前田建設、JWD：日本風力開発

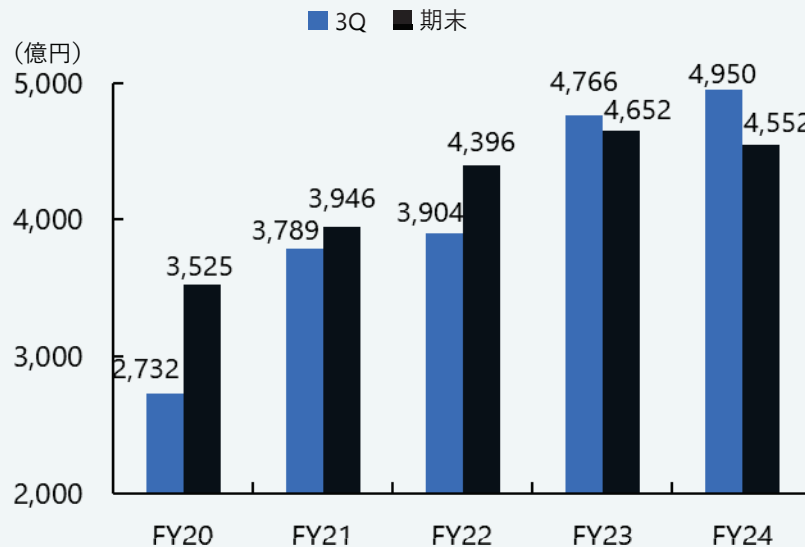
※舗装セグメントはPPA資産の償却が加味されています

※インフラ運営セグメントのJWDはPPA資産の償却が加味されています

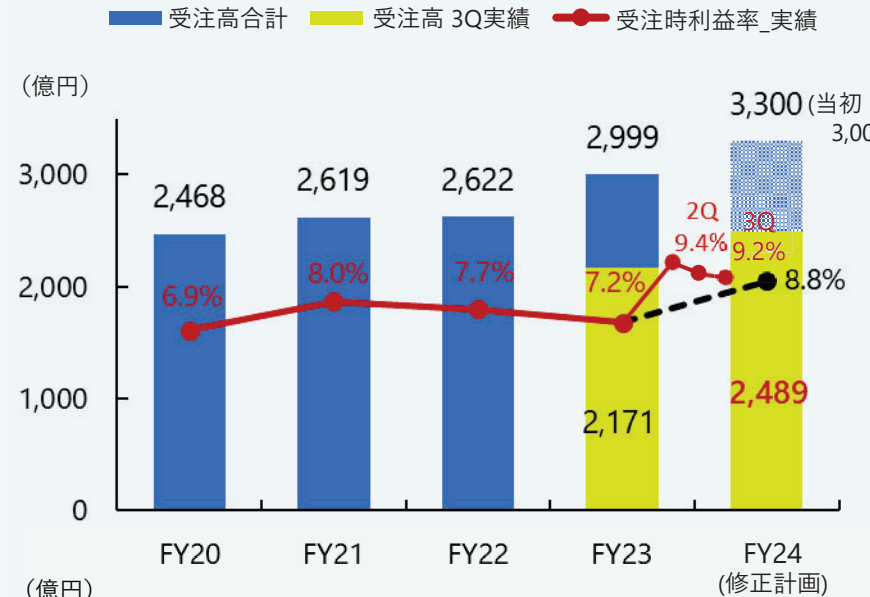
6. 手持工事高、受注高、受注時利益率の推移 【建築、土木セグメント】

- 建築の受注高は**堅調**に推移し、**受注時利益率は高水準**を維持
期末での手持工事高は前年同様高水準を見込む
- 土木の受注高は**堅調**に推移し、**受注時利益率も高水準**を維持
期末での手持工事高は直近3年で**最高額**を見込む

手持工事高※

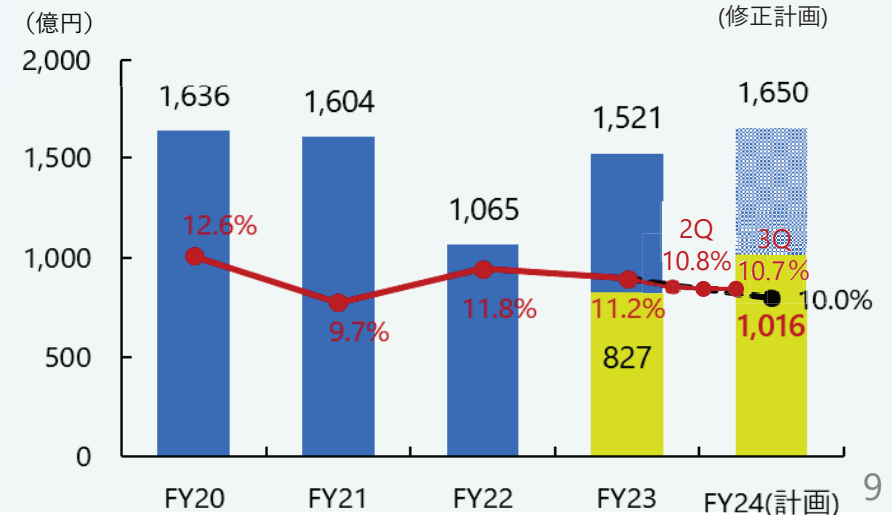
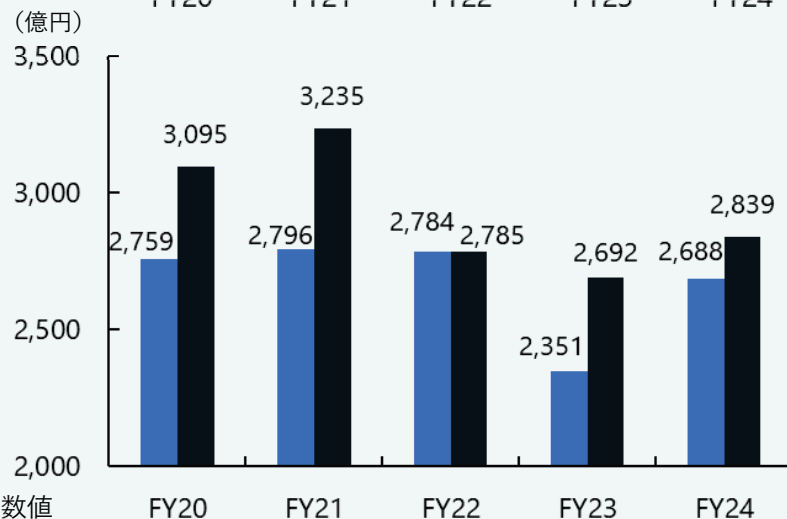


受注高・受注時利益率※



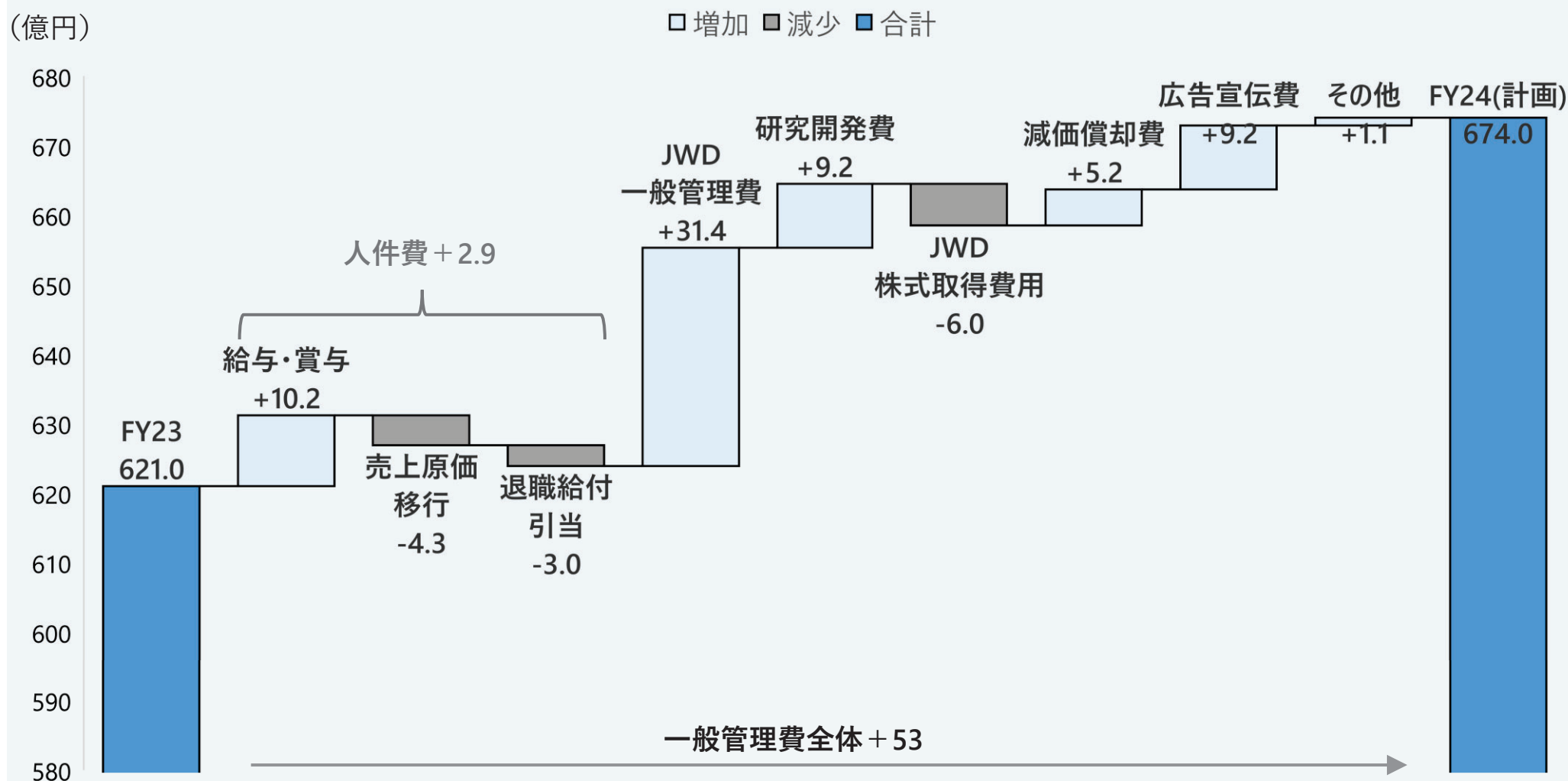
建築

土木



7. FY24一般管理費 増減の主な要因

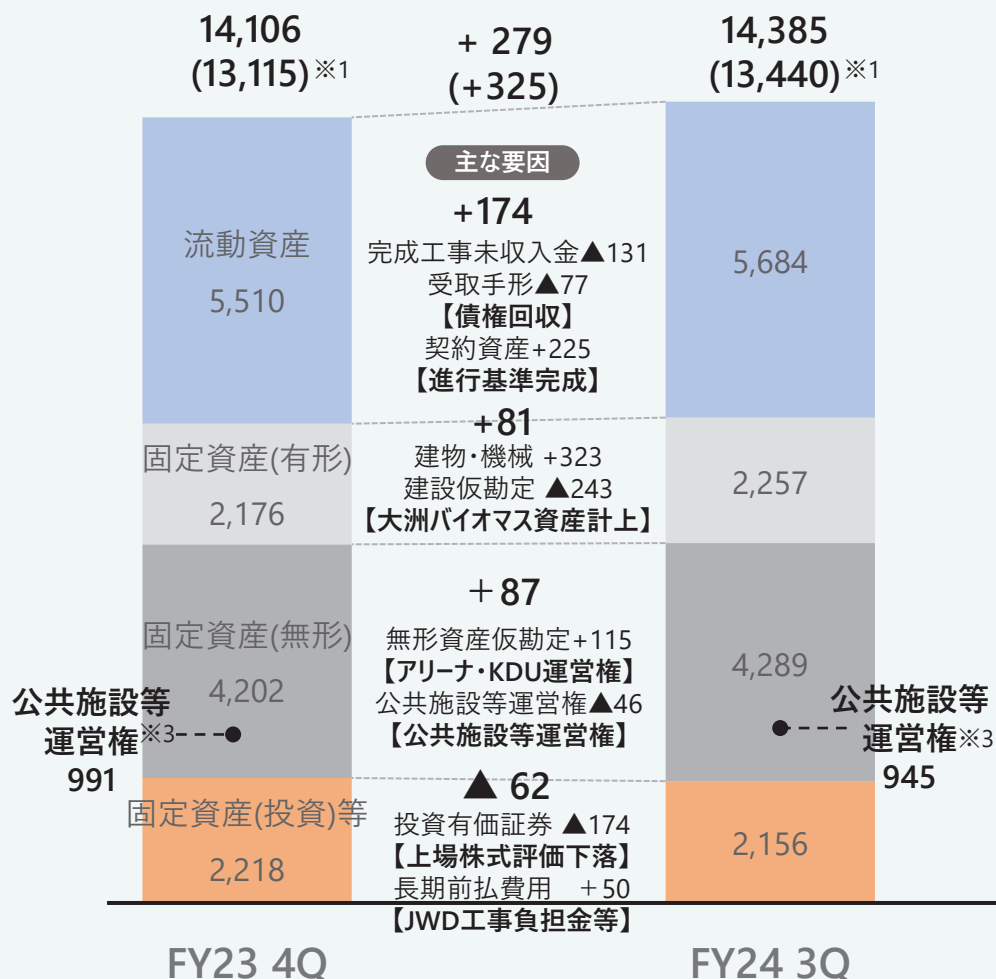
- 日本風力開発(JWD)の完全子会社化に伴い、一般管理費が増加
- 広告宣伝費については、B.LEAGUEとのパートナーシップ契約の締結に伴い増加。これは、コンセッション事業を始めとする官民連携・インフラビジネスのノウハウを活かした、地方創生に寄与する取り組みが目的



8. 連結貸借対照表の主な増減の要因

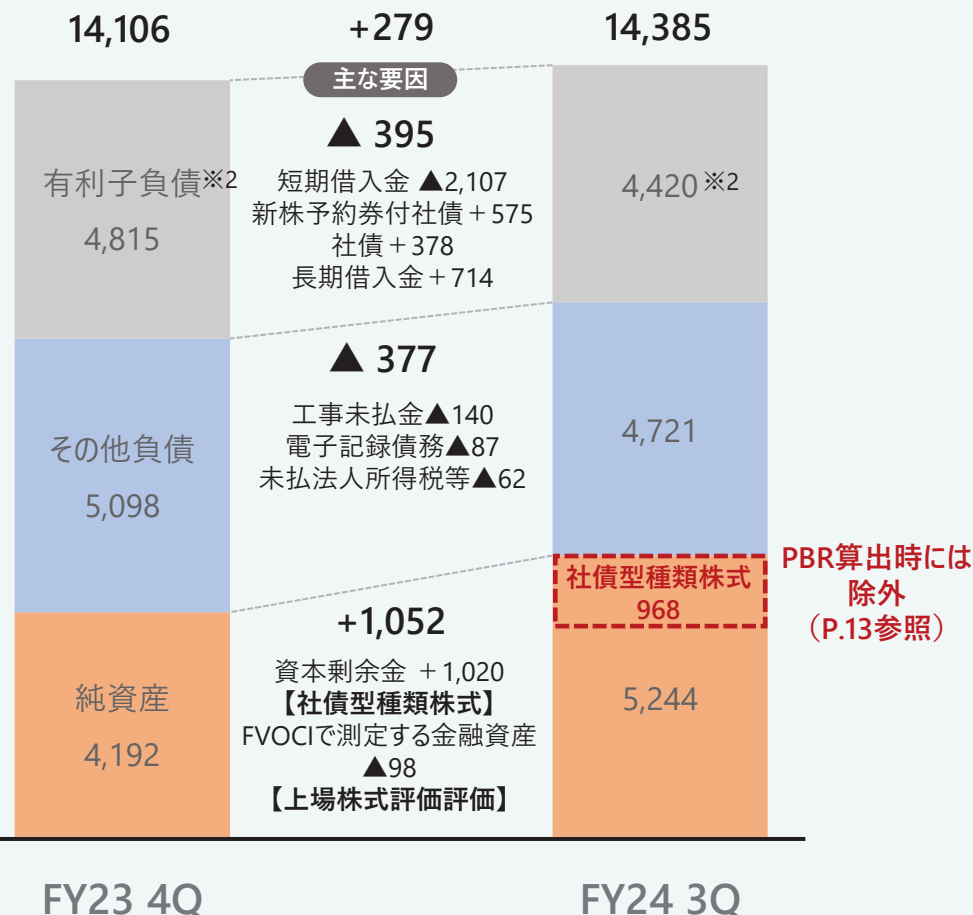
資産

(億円)



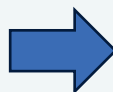
負債・資本

(億円)



FY23 4Q時点

ROA 2.3%
(2.5%)^{※1}



FY24 通期見込み

ROA 2.3%
(2.5%)^{※1}

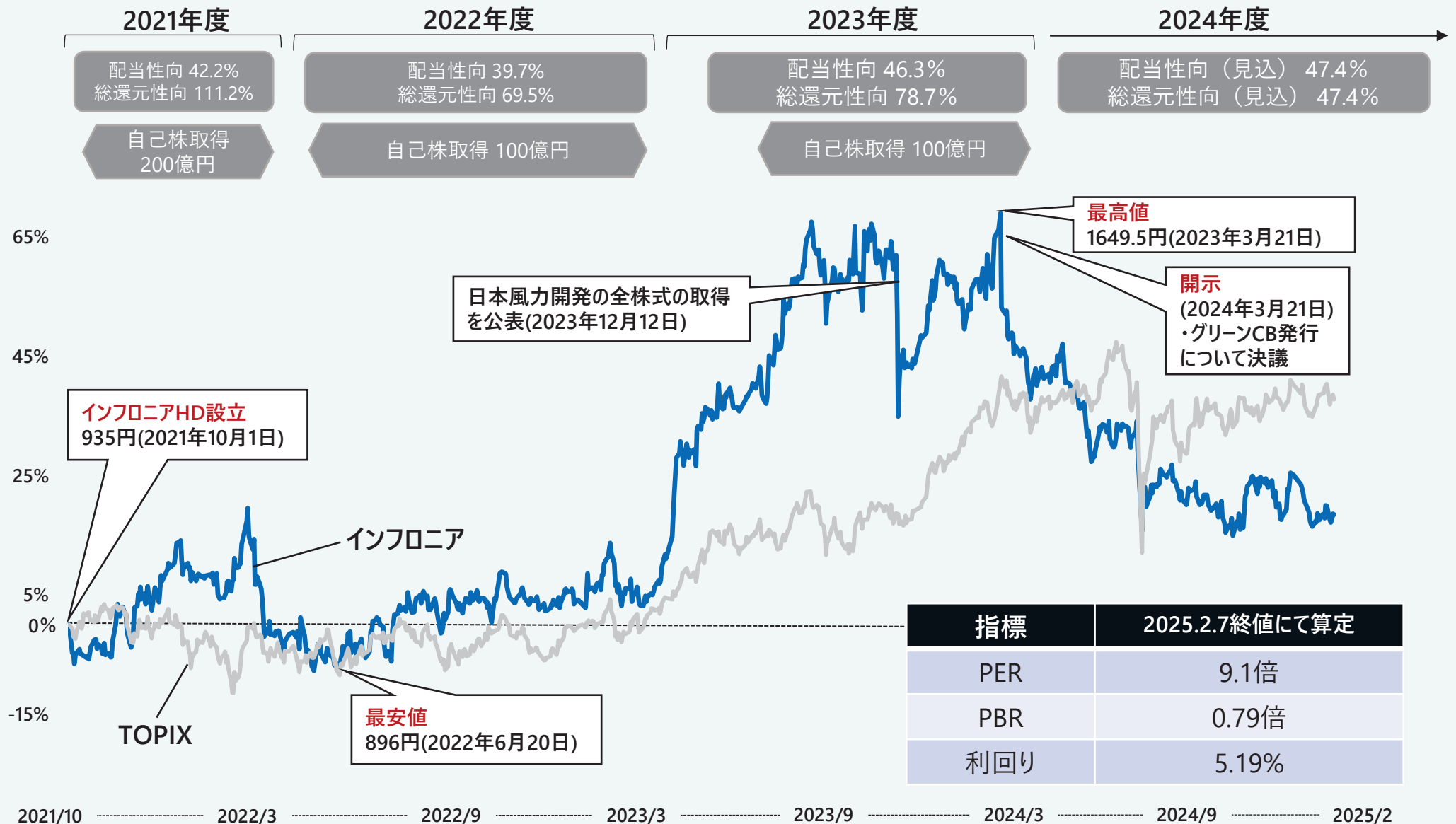
※1 ()・・・公共施設等運営権を除いた数値

※2 有利子負債 = 短期借入金、長期借入金、ノンリコース借入金
(1年以内返済予定も含む)、社債

※3 公共施設等運営権：コンセッション事業などの数年にわたって公共施設を
運営する権利の譲渡を受ける際に支払われる対価

9. 資本戦略と株価の推移

- 引続き資本戦略の実施および業績目標達成により資本効率を意識した経営を進める



※2021年10月1日時点の株価を基準(0)とした、株価の伸び率を%で表示

10. 社債型株式発行による財務指標等への影響

- 社債型種類株式は普通株式とは区別され、PBR算定時の純資産からは除く
- ROE・EPSは、優先配当分差し引かれる為、普通株主に帰属する当期純利益は減少

(億円)

財務指標	算定式	FY24通期見込
ROE (普通株式)	$\frac{\text{当期純利益} - \text{優先配当}}{\text{自己資本 (普通株式)}}$	$\frac{330 - 17^{*\1}}{4,108} = 7.6\%$
EPS (普通株式)	$\frac{\text{当期純利益} - \text{優先配当}}{\text{発行済株式数 (普通株式)}}$	$\frac{330 - 17^{*\1}}{24,695 \text{万株}} = 126.6 \text{円}$
PBR (普通株式 ・3Q時点)	$\frac{\text{時価総額 (普通株式)}}{\text{純資産} - \text{社債型種類株式に係る純資産} - \text{優先配当}}$	$\frac{1,156.5^{*\2} \times 27,484 \text{万株}^{*\3}}{5,022^{*\4} - 968 - 17^{*\1}} = 0.79 \text{倍}$
D/Eレシオ	$\frac{\text{有利子負債}}{\text{株主資本 (種類株式を含む)}}$	$\frac{4,240}{5,145} = 0.82 \text{倍}$

※1 初年度配当17.34億円 次年度以降配当26億円

※2 株価は2025.2.7終値にて算定 (1156.5円)

※3 自己株含む

※4 非支配持分を含まない

Appendix

セグメント別ハイライト

建築
前田建設

土木
前田建設

インフラ運営
前田建設（連結）

インフラ運営
日本風力開発（連結）

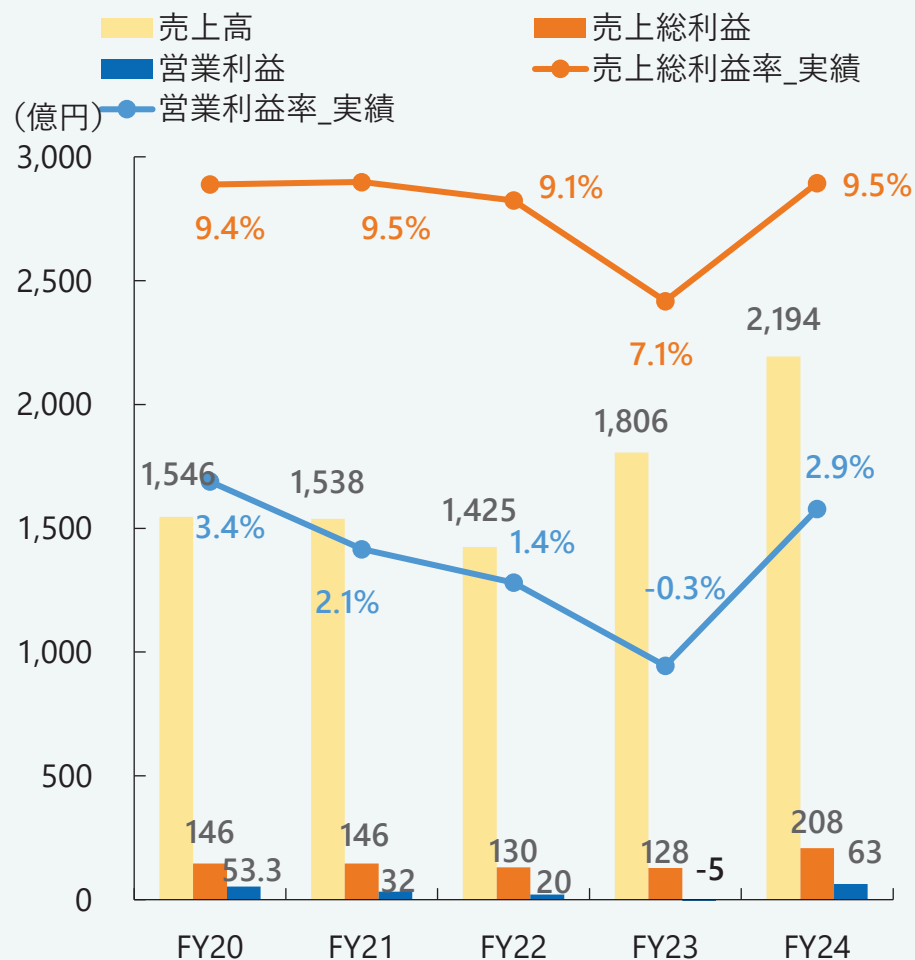
舗装
前田道路（連結）

機械
前田製作所（連結）

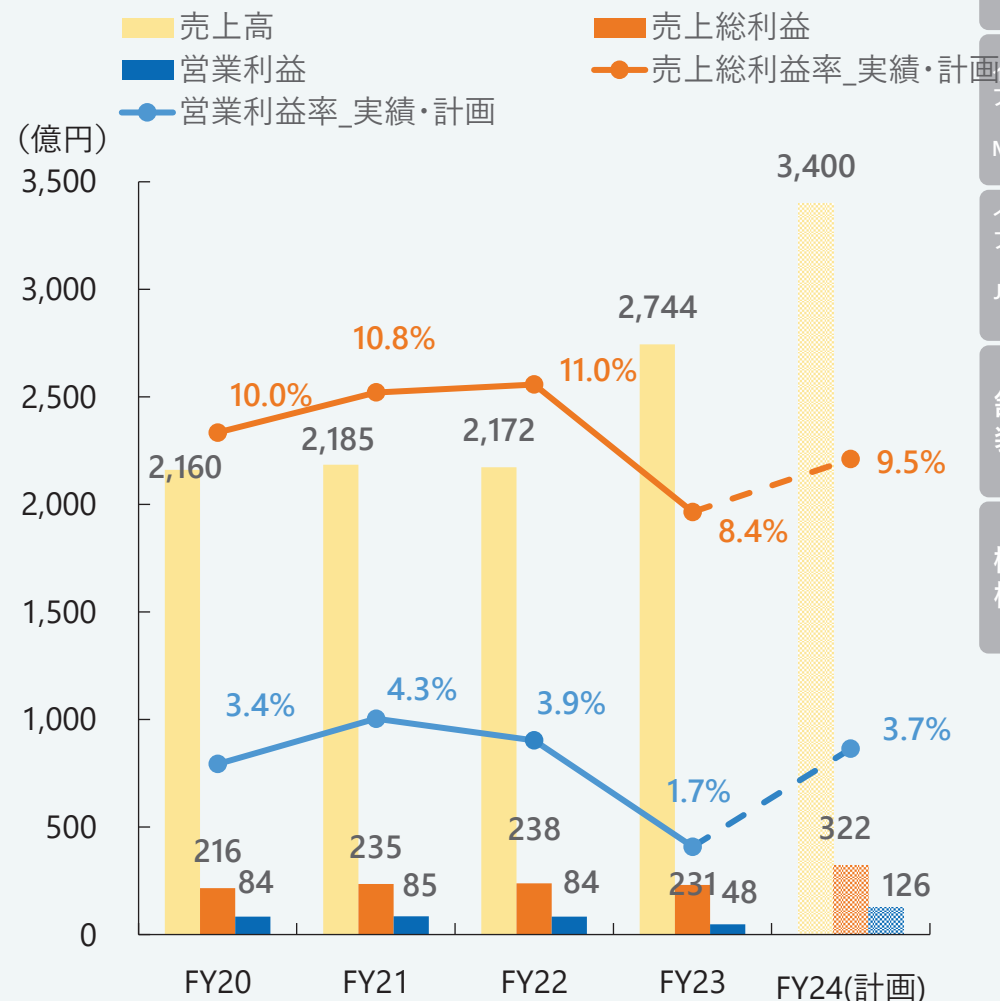
1-1. 【前田建設 個別 ※不動産含む】 売上高、売上総利益、営業利益の推移

- FY24 3Q 豊富な手持工事と新規受注工事の順調な進捗により前年同期を大きく上回り増収増益
- FY24 通期 期首目標売上高3,000億円、及び売上総利益と営業利益ともに計画達成の見込み

第3四半期



通期

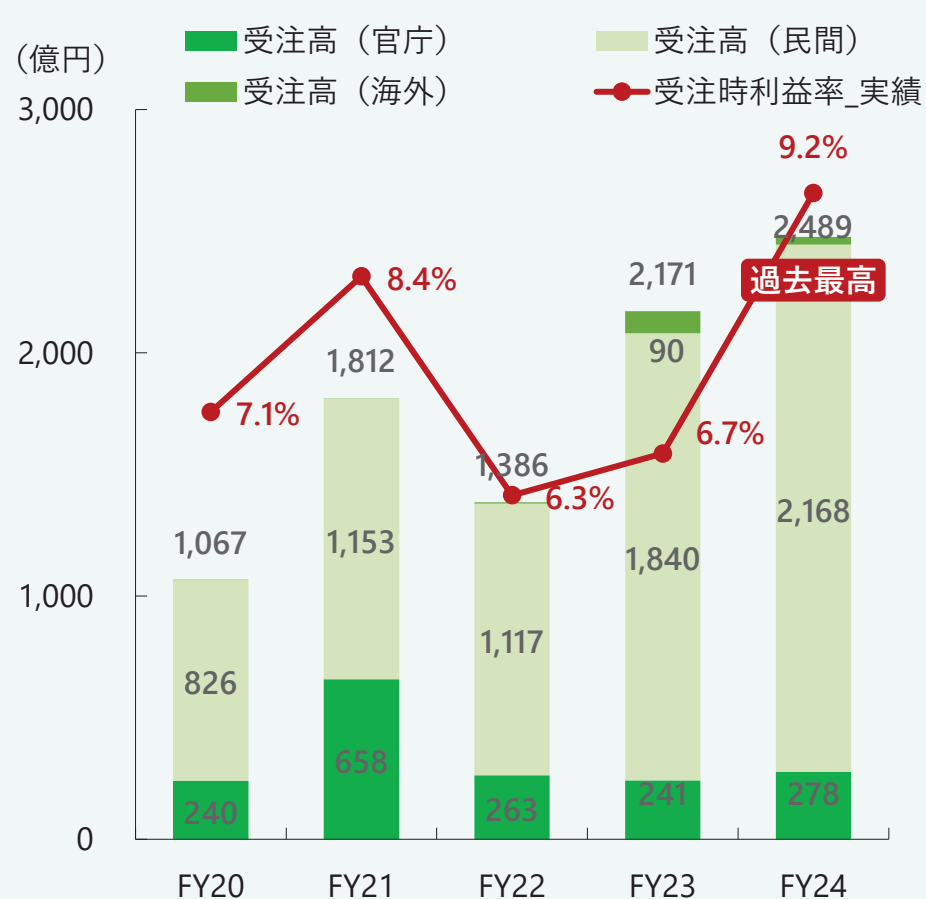


※海外の主要現地法人の売上高、売上総利益はインフロニア・ホールディングス その他セグメントに含まれる。

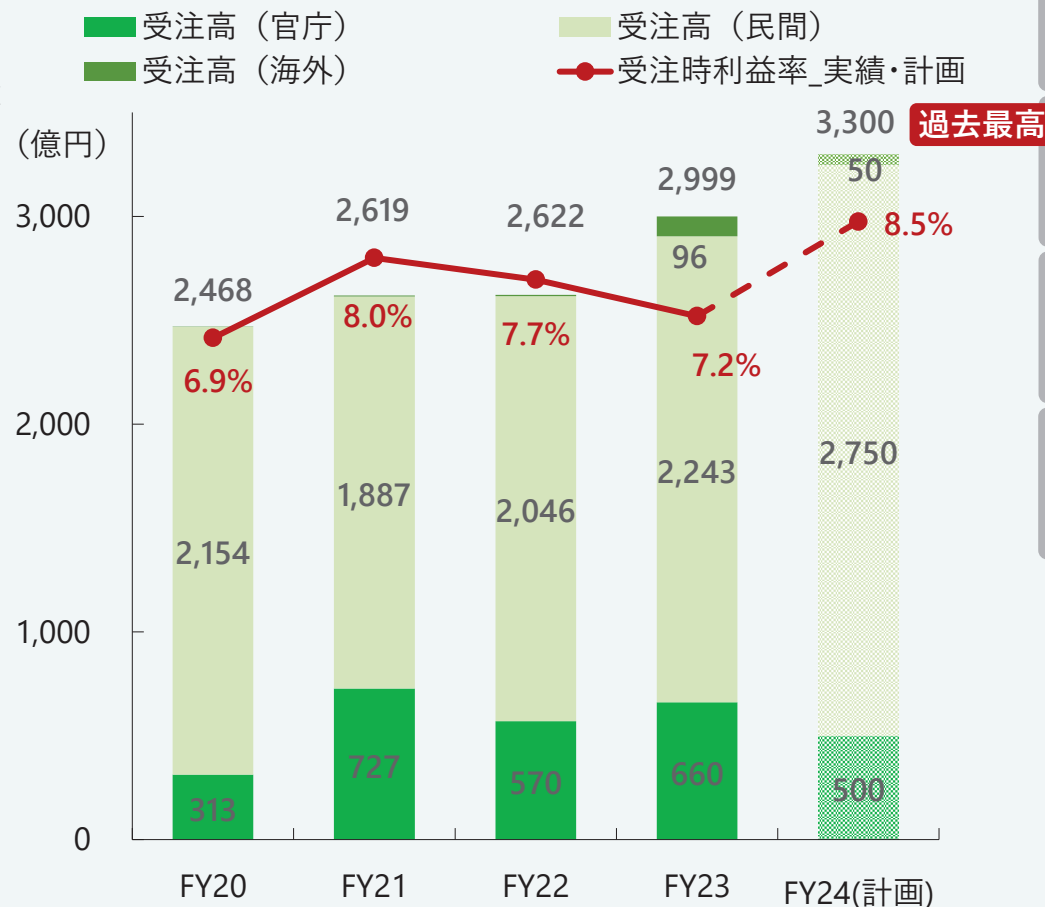
1-2. 【前田建設 個別 ※不動産含む】 受注高と受注時利益率の推移

- FY24 3Q 3Q時点の受注高は2,489億円と**過去最高**。受注時利益率も高い水準を確保
- FY24通期 受注高目標3,300億円は**達成の見込み**。受注時利益率9%台を目指す

第3四半期



通期



建築

土木

インフラ・MK

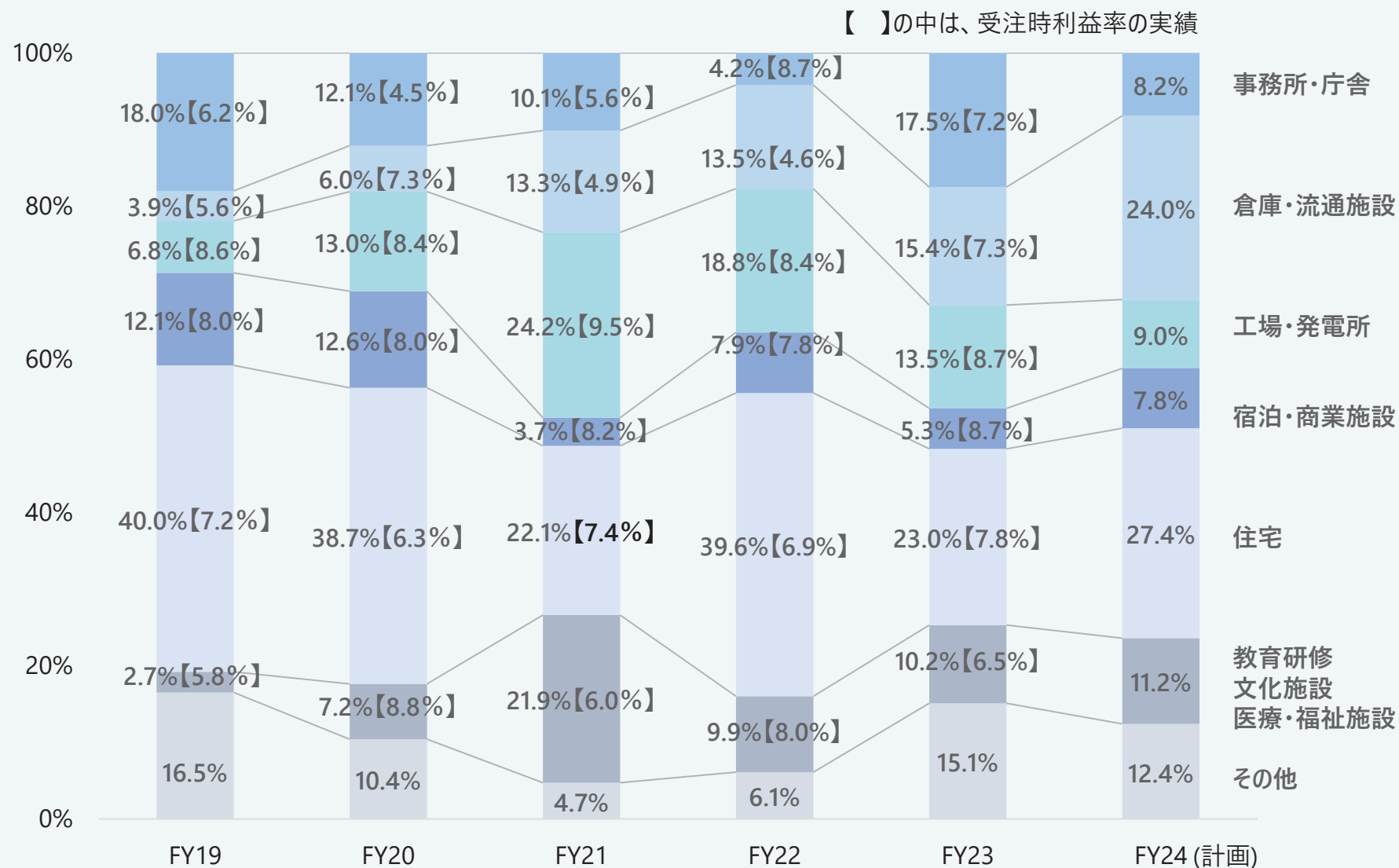
インフラ・JWD

舗装

機械

1-3. 【前田建設 個別 国内】 建物用途別 受注比率の推移

- FY24 3Q 2Qより継続して「住宅」「倉庫・流通施設」が堅調に推移
- FY24通期 複数の大型物流プロジェクトの受注により「倉庫・流通施設」比率が高まる見込み
「住宅」は大型再開発プロジェクトを中心に堅調な受注を見込む



- 建築
- 土木
- インフラ・MK
- インフラ・JWD
- 舗装
- 機械

セグメント別ハイライト

建築
前田建設

土木
前田建設

インフラ運営
前田建設（連結）

インフラ運営
日本風力開発（連結）

舗装
前田道路（連結）

機械
前田製作所（連結）

2-1. 【前田建設 個別】 売上高、売上総利益、営業利益の推移

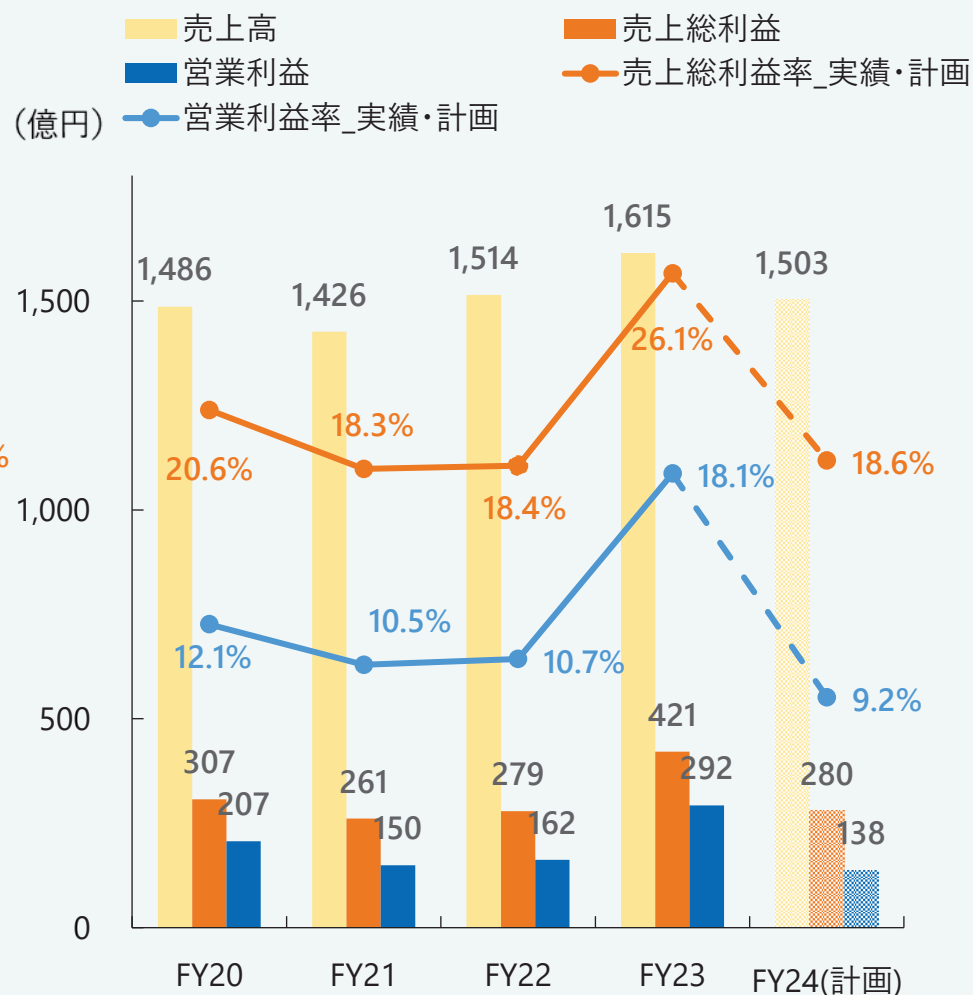
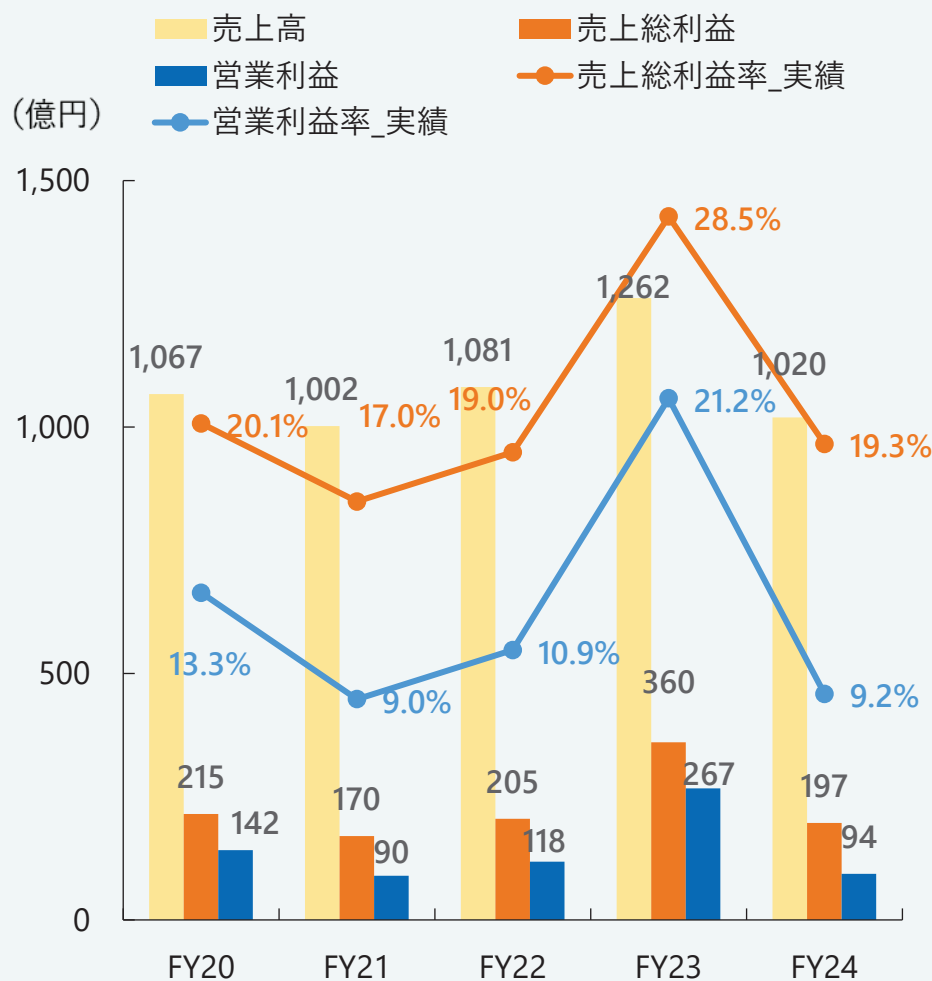
土木

INFRONEER Holdings Inc.

- FY24 3Q 今期竣工案件の設計変更獲得により、完工高・利益共に上昇傾向
- FY24通期 工事の進捗状況の改善と設計変更獲得額の増加により、完工高と利益のさらなる向上を目指す。売上高、受注高および利益についても**通期計画は達成の見込み**

第3四半期

通 期



建築

土木

インフラ・MK

インフラ・JWD

舗装

機械

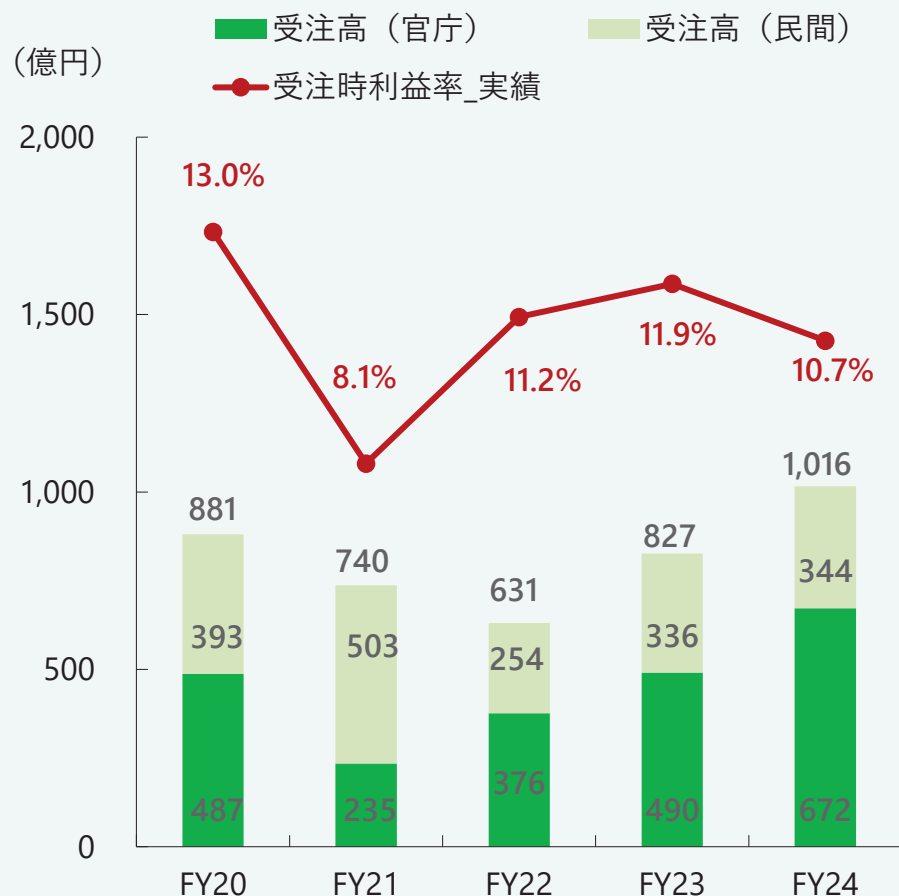
2-2. 【前田建設 個別】 受注高と受注時利益率の推移

土木

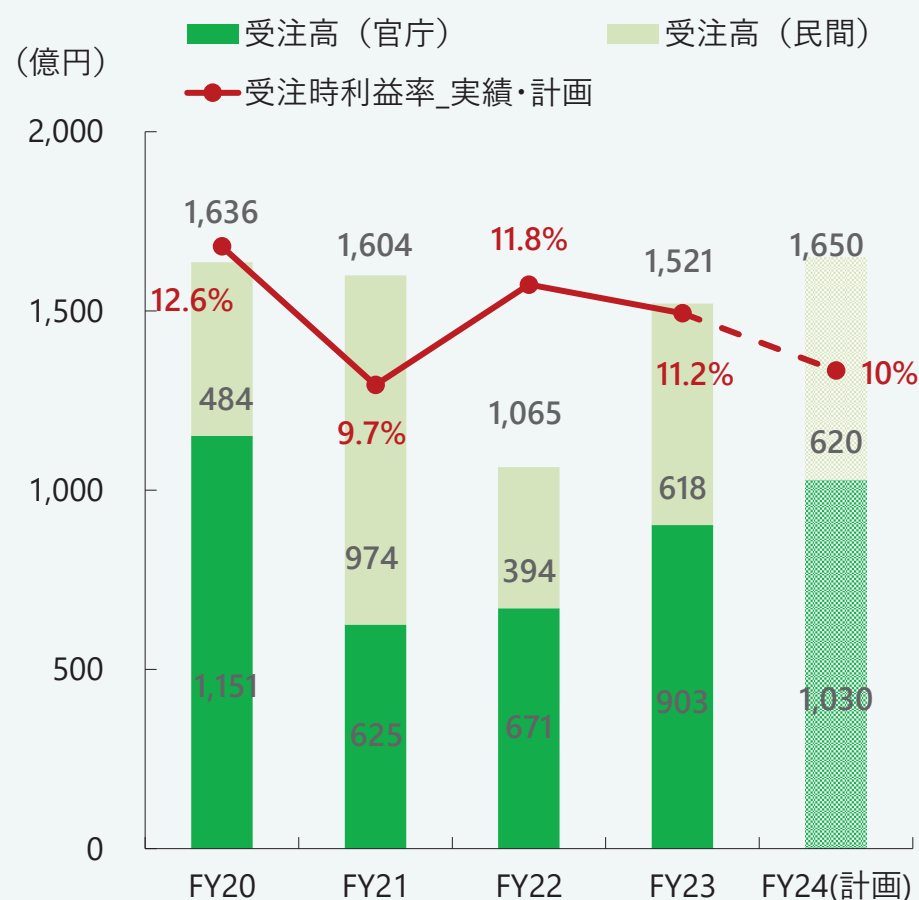
INFRONEER Holdings Inc.

- FY24 3Q 受注は官民共に**堅調で対前期比増加**。受注時利益率も計画値を上回る
- FY24通期 4Q出件の大型工事の受注確保。特命案件の期ズレ防止。更なる設計変更の獲得により**通期計画値達成**を見込む

第3四半期



通期



建築

土木

インフラ・MK

インフラ・JWD

舗装

機械

セグメント別ハイライト

建築
前田建設

土木
前田建設

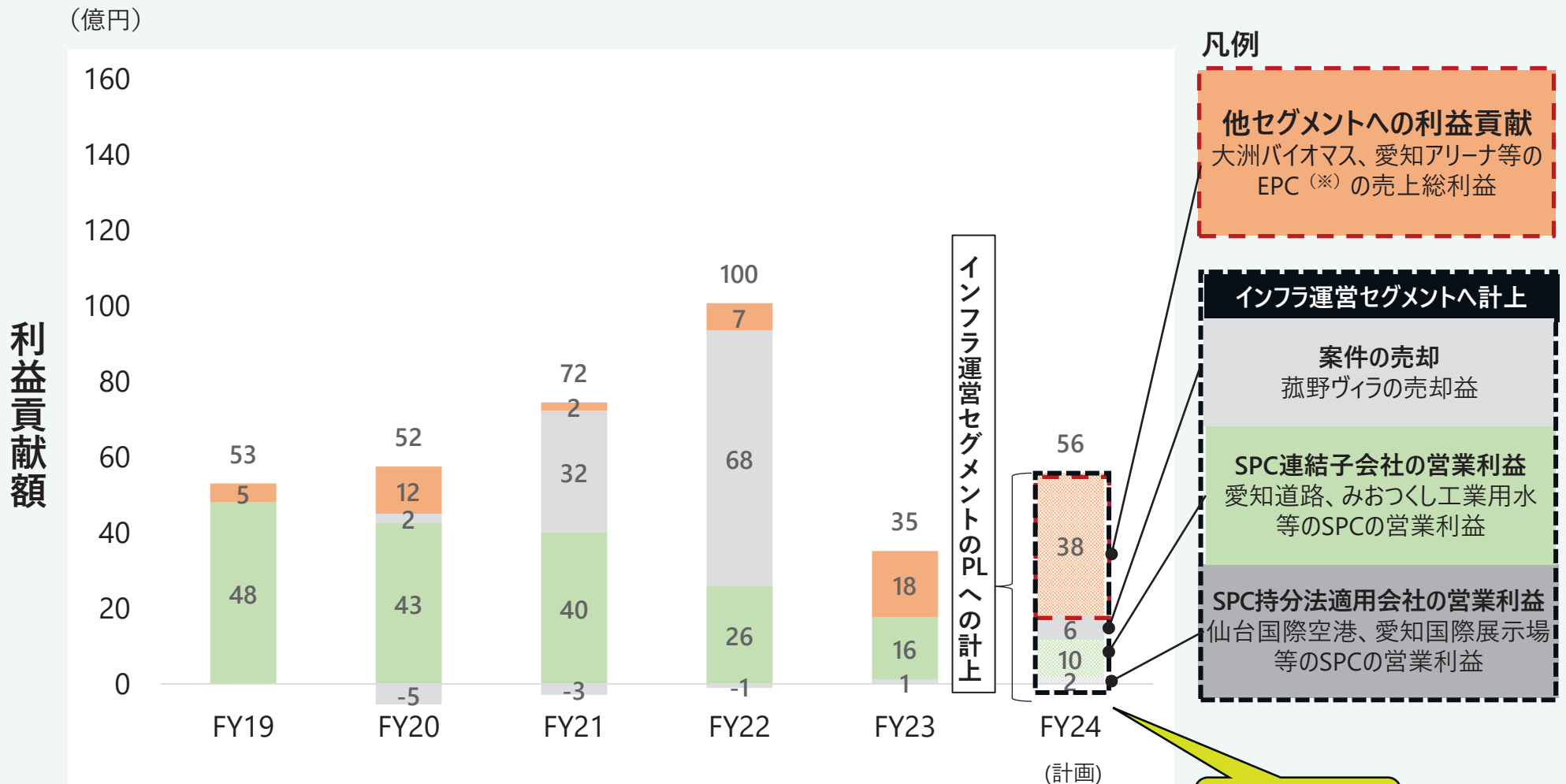
インフラ運営
前田建設（連結）

インフラ運営
日本風力開発（連結）

舗装
前田道路（連結）

機械
前田製作所（連結）

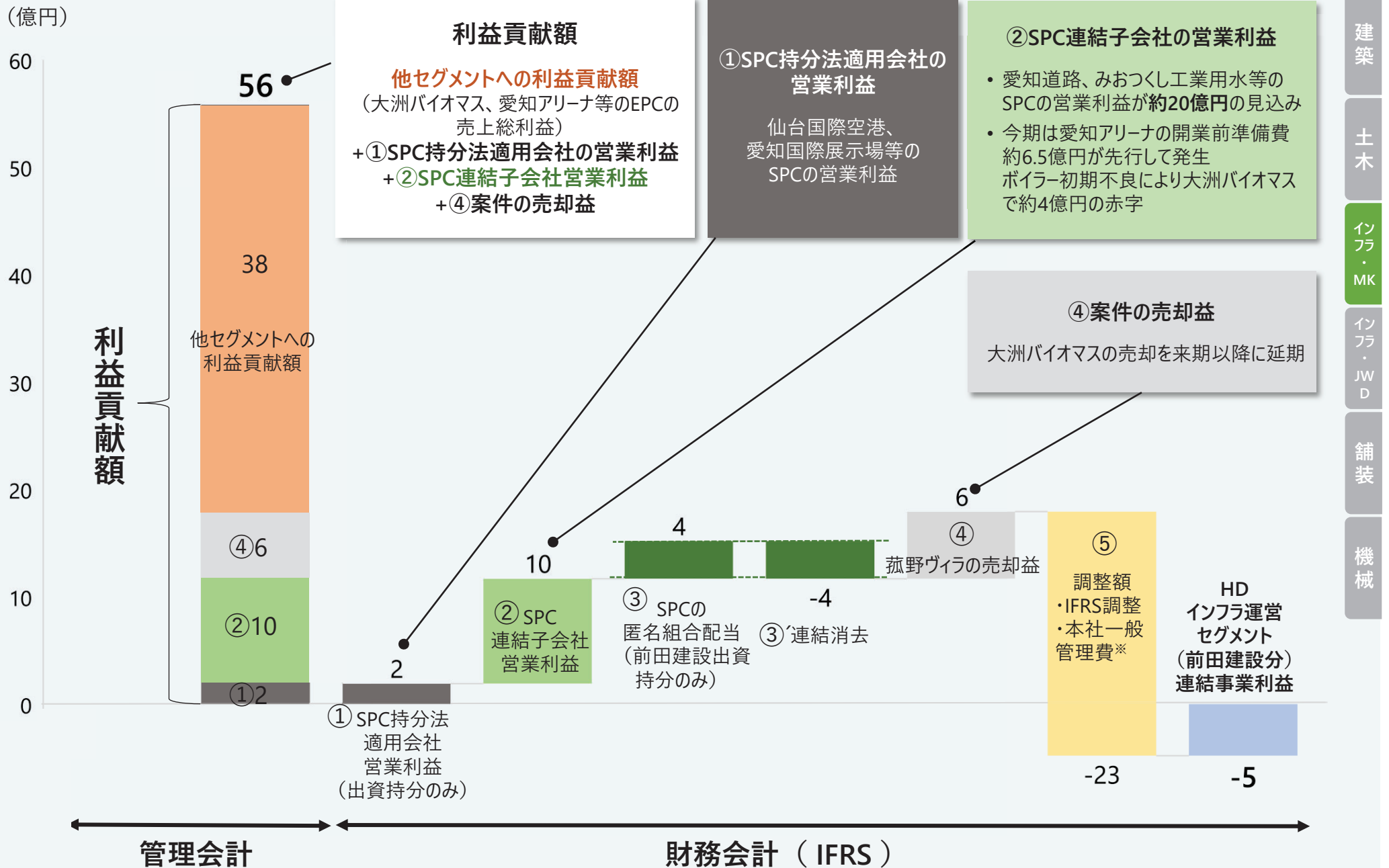
- FY24 3Q 愛知道路をはじめとした運営中のSPCの営業利益は順調に推移（P.25参照）
- FY24通期 **大洲バイオマスの売却を来期以降に延期したため、通期の利益貢献額は約56億円**となる見込み（P.24参照）



（※）EPC インフラ運営事業に伴う設計・調達・建設工事等の一括請負業務

詳細は
次頁参照

- 建築
- 土木
- インフラ・MK
- インフラ・JWD
- 舗装
- 機械



建築

土木

インフラ・MK

インフラ・JWD

舗装

機械

※ SPC連結子会社ならびにSPC持分法適用会社の一般管理費を除く、前田建設ならびにホールディングスのインフラ運営セグメントに係る一般管理費

3-1-3. 主なグループ会社（インフラ運営）のFY24 3Q実績と通期計画

建築

土木

インフラ・MK

インフラ・JWD

舗装

機械

前田建設工業

(百万円)

連結子会社 (インフラ運営セグメント)	愛知道路コンセッション(株) ※1				みおつくし工業用水コンセッション(株) ※1				三浦下水道コンセッション(株) ※1			
	FY23 3Q実績	FY24 3Q実績	FY24 当初計画	FY24 修正計画	FY23 3Q実績	FY24 3Q実績	FY24 当初計画	FY24 修正計画	FY23 3Q実績	FY24 3Q実績	FY24 当初計画	FY24 修正計画
売上高	11,356	11,763	15,982	15,432	1,071	1,218	1,721	1,548	147	154	242	252
営業利益	959	1,162	2,131	1,919	190	152	124	96	44	28	14	29
経常利益	95	338	1,041	717	181	142	113	84	39	24	8	23
当期純利益	68	308	948	644	119	89	75	56	26	15	6	16

持分法 適用会社	仙台国際空港(株) ※2				愛知国際展示場(株) ※3			
	FY23 3Q実績	FY24 3Q実績	FY24 当初計画	FY24 修正計画	FY23 3Q実績	FY24 3Q実績	FY24 当初計画	FY24 修正計画
売上高	3,126	3,492	4,603	4,673	673	1,193	991	1,336
営業利益	346	376	271	327	78	442	150	384
経常利益	346	379	270	329	68	449	141	368
当期純利益	418	404	335	435	29	282	94	157

※1 日本基準・単体

※2 日本基準・単体、当社出資持分：49%

※3 日本基準・単体、当社出資持分：30%

3-1-4. 国内の主なインフラ運営事業

- 様々なインフラサービスにおける確かな実績
- 民間の強みを活かし、効率的な一括管理を実施

コンセッション事業

9 事業

(FY24 2Q時 9 事業)

PFI事業等

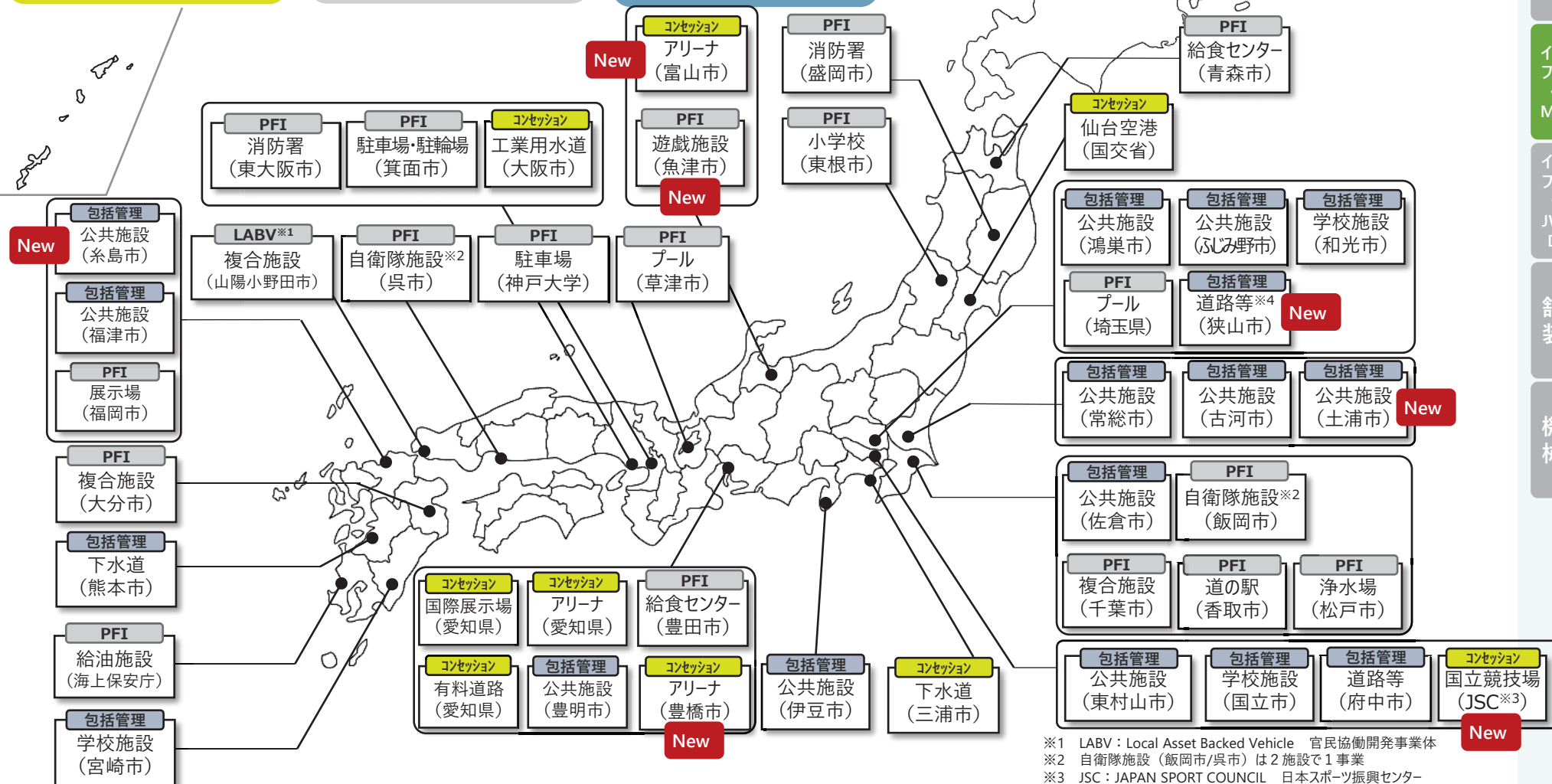
19 事業

(FY24 2Q時 18 事業)

包括的民間委託

17 事業

(FY24 2Q時 15 事業)



※1 LABV: Local Asset Backed Vehicle 官民協働開発事業体
 ※2 自衛隊施設(飯岡市/呉市)は2施設で1事業
 ※3 JSC: JAPAN SPORT COUNCIL 日本スポーツ振興センター
 ※4 前田道路の受託事業

セグメント別ハイライト

建築
前田建設

土木
前田建設

インフラ運営
前田建設（連結）

インフラ運営
日本風力開発（連結）

舗装
前田道路（連結）

機械
前田製作所（連結）

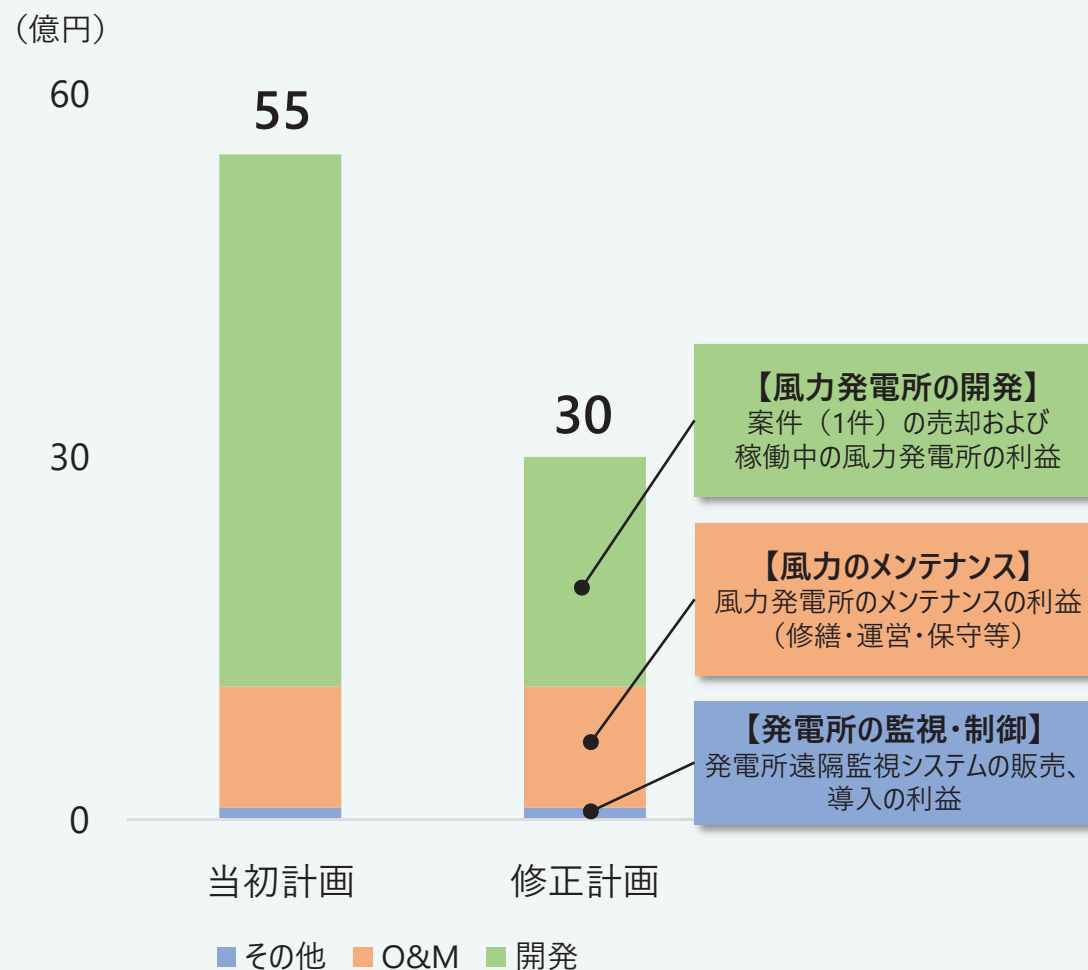
3-2-1. 日本風力開発 通期計画の修正

- 4Qに1案件の売却を予定しているが、**3案件の売却を来期以降に延期**したため、
通期の売上総利益は約55億円→約30億円、営業利益は約15億円→▲9億円に修正

・日本風力開発【連結】通期計画、修正計画

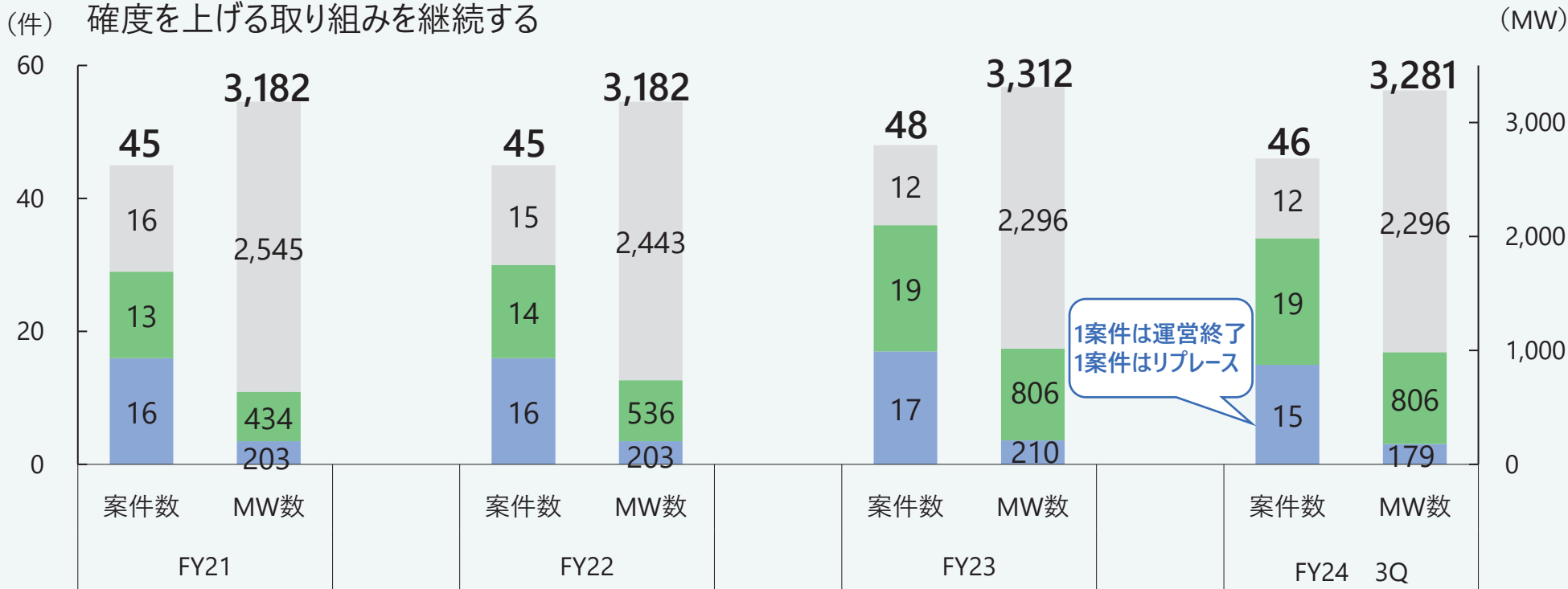
	(億円)	
	FY24 通期計画 当初	FY24 修正計画 3Q時
売上高	87	63
開発	64	39
O&M	20	20
その他	4	4
売上総利益	55 (62.6%)	30 (47.8%)
開発	44 (68.4%)	19 (48.2%)
O&M	10 (51.6%)	10 (51.6%)
その他	1 (24.9%)	1 (24.9%)
一般管理費	39 (45.1%)	39 (62.9%)
営業利益	15 (17.5%)	△ 9 -
経常利益	15 (17.7%)	△ 9 -
当期純利益	10 (11.2%)	△ 10 -

・売上総利益の修正



3-2-2. 日本風力開発の運営中および開発中案件の推移

- FIT/FIPを取得し、各案件の開発を着実に進めている
- FY24 3Q時点ではFY21比でFIT/FIP取得済案件の開発が約370MW増加しており、今期も案件の確度を上げる取り組みを継続する



【凡例】

案件
ステータス



風力発電所の
開発プロセス

FS調査	開発 (調査・各所協議・設計等)	建設	運営・保守
風況調査 許認可調査 地元事前協議など	用地・許認可取得 (FIT/FIP取得含) 環境アセスメント 電力会社手続き (系統連系) 工事計画届	土木工事 風車組立工事 電気設備工事	運営 点検・保守 遠隔監視・制御

参考：日本風力開発(株)HP 風力発電までの流れ：<https://www.jwd.co.jp/development/#flow>

建築
土木
インフラ・MK
インフラ・JWD
舗装
機械

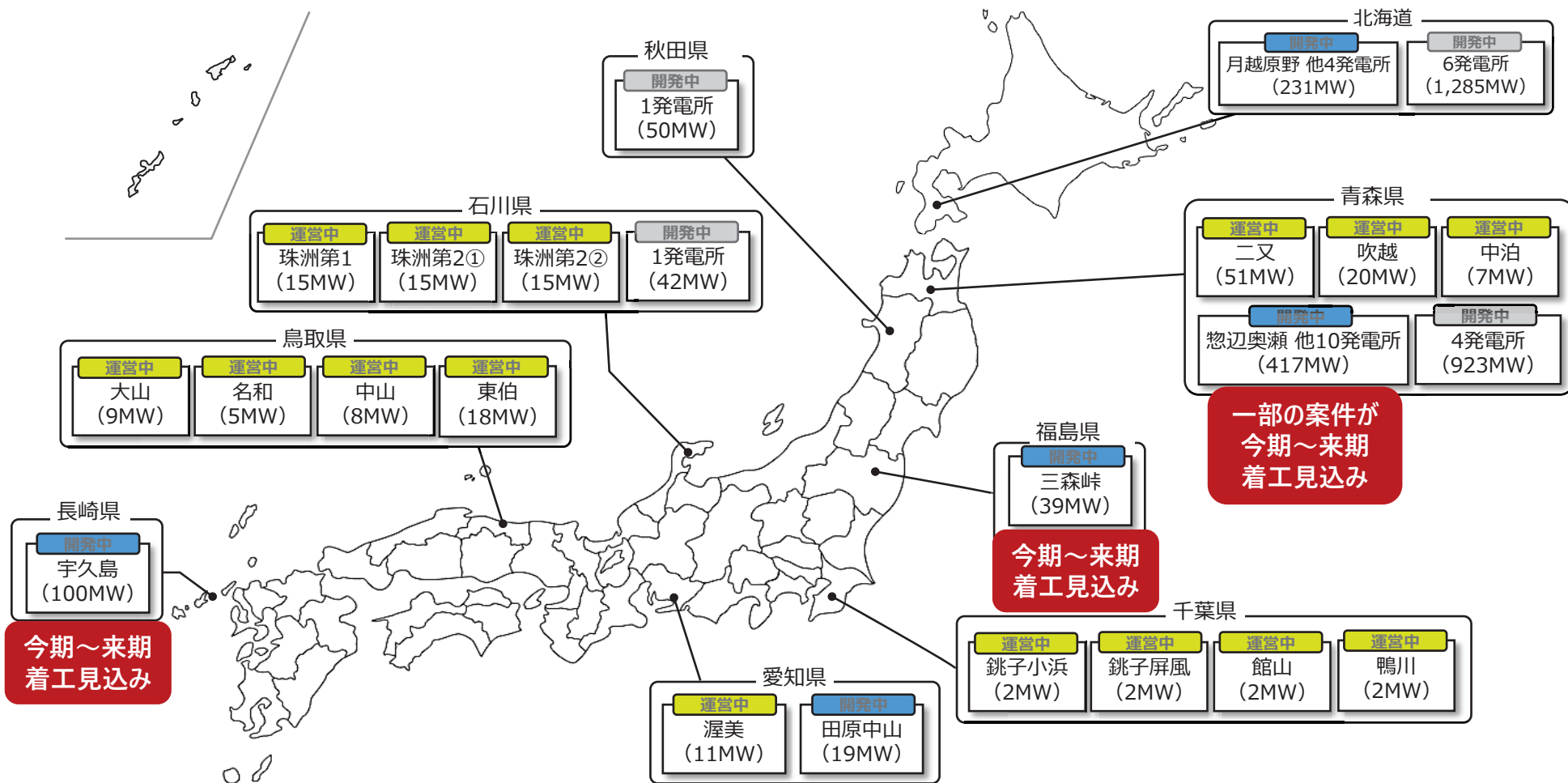
3-2-3. 日本風力開発の取り組みプロジェクトの状況

- 開発から運営まで、風力事業のすべてのフェーズを自社グループで対応
- 地域との共生を第一に、常に地域と対話をしながら開発を推進

運営中
約**180** MW

開発中 (FIT/FIP取得済)
※落札済案件含
約**800** MW

開発中 (入札予定
・非FIT/FIP)
約**2,300** MW



建築

土木

インフラ・MK

インフラ・JWD

舗装

機械

セグメント別ハイライト

建築
前田建設

土木
前田建設

インフラ運営
前田建設（連結）

インフラ運営
日本風力開発（連結）

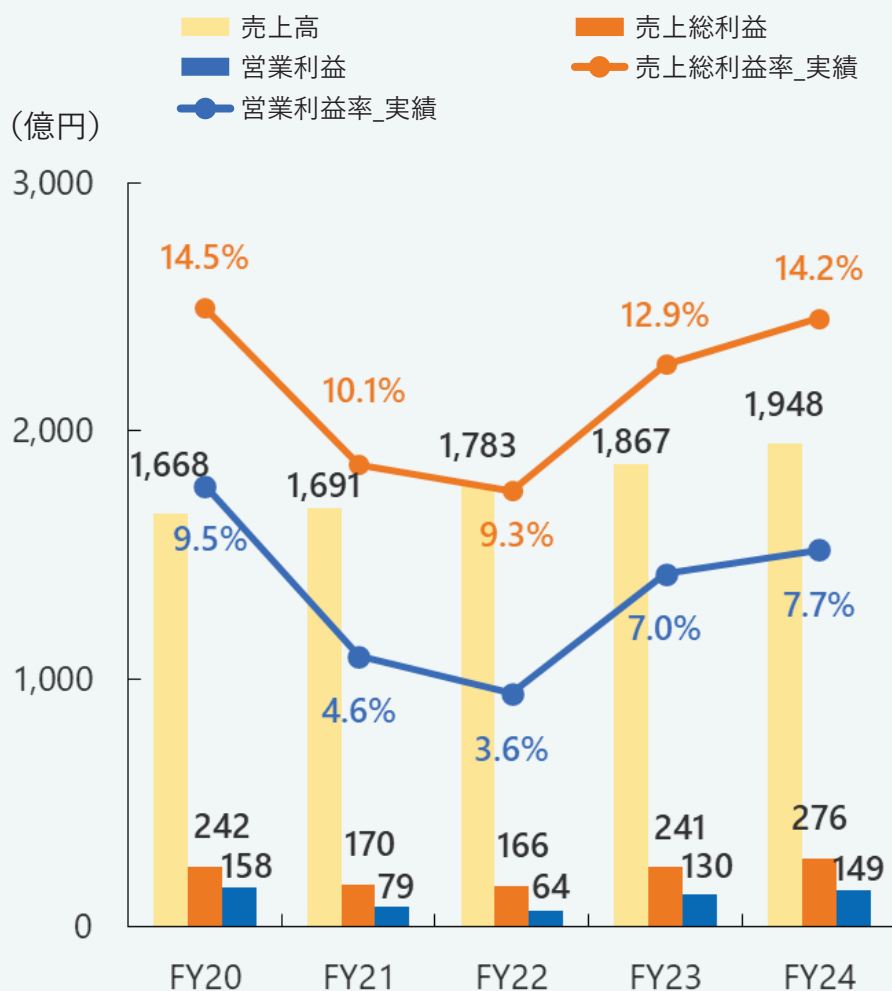
舗装
前田道路（連結）

機械
前田製作所（連結）

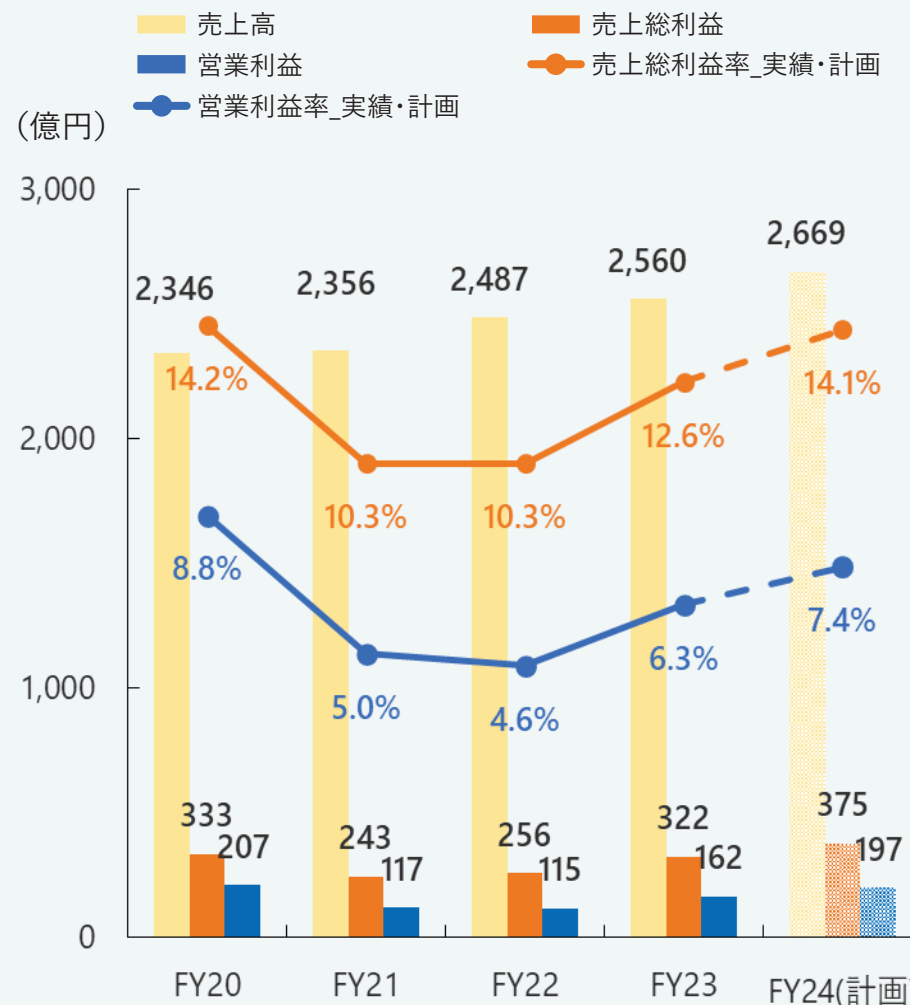
4-1. 【前田道路 連結】 売上高、売上総利益、営業利益の推移

- FY24 3Q 受注時利益率の改善および販売単価の適正化により**前年同期比増収増益**
- FY24通期 建設事業においては受注時利益率を重視した営業活動を行う
製造販売事業においては適切な販売単価を設定することで、**通期計画達成**を見込む

第3四半期



通 期※



※上記数値は、前田道路の従来の連結数値であり、インフリアグループ内の連結消去を考慮していない

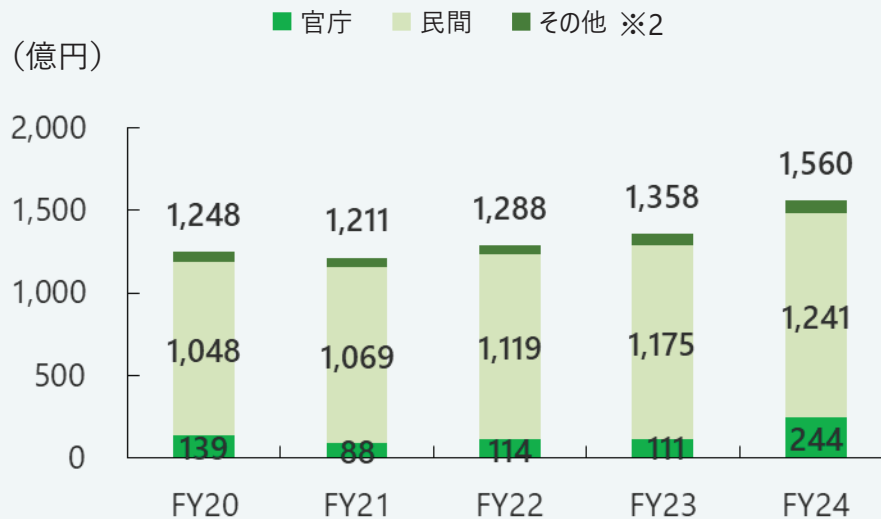
4-2. 【前田道路 連結 建設事業】 受注高、売上高、売上総利益、営業利益の推移

舗装

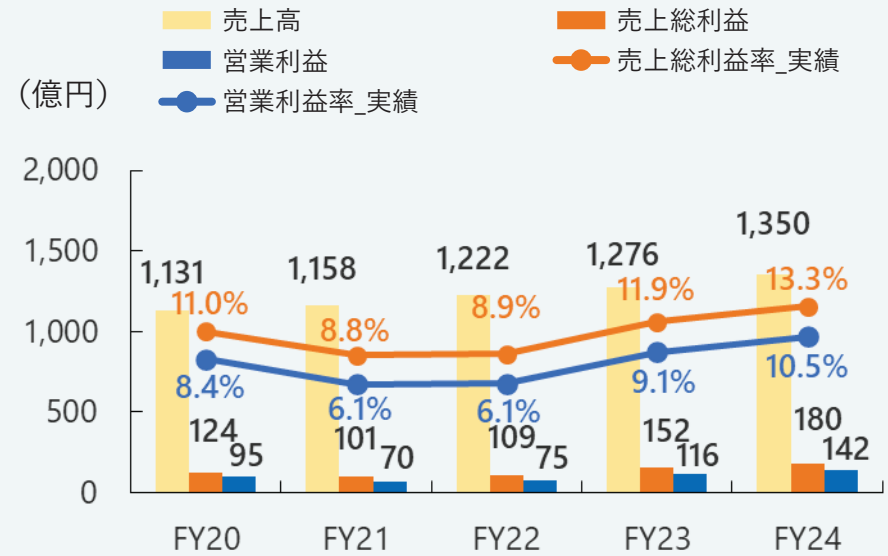
INFRONEER Holdings Inc.

- FY24 3Q 豊富な繰越工事、および受注時利益率の改善により**前年同期比増収増益**
- FY24通期 受注時利益率を重視した営業活動により、通期計画達成の見込み

受注高※1

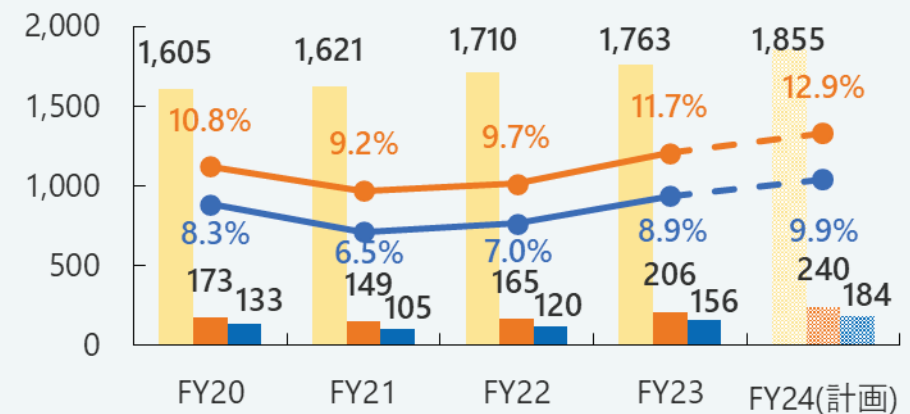
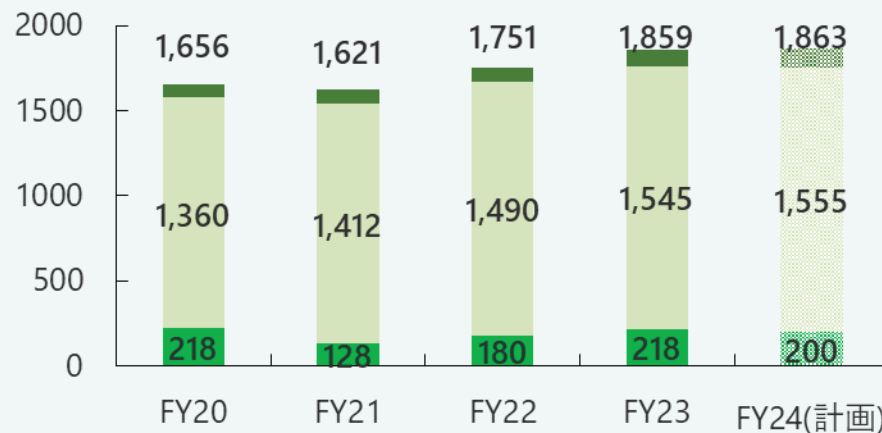


売上高と売上総利益※1



第3
四半期

通
期



※1 従来の前田道路の連結数値であり、インフロニアグループ内の連結消去を考慮していない

※2 その他：関連会社の受注高（主に官庁工事）及びセグメント内取引消去高

建築

土木

イン
フラ
・
MK

イン
フラ
・
JW
D

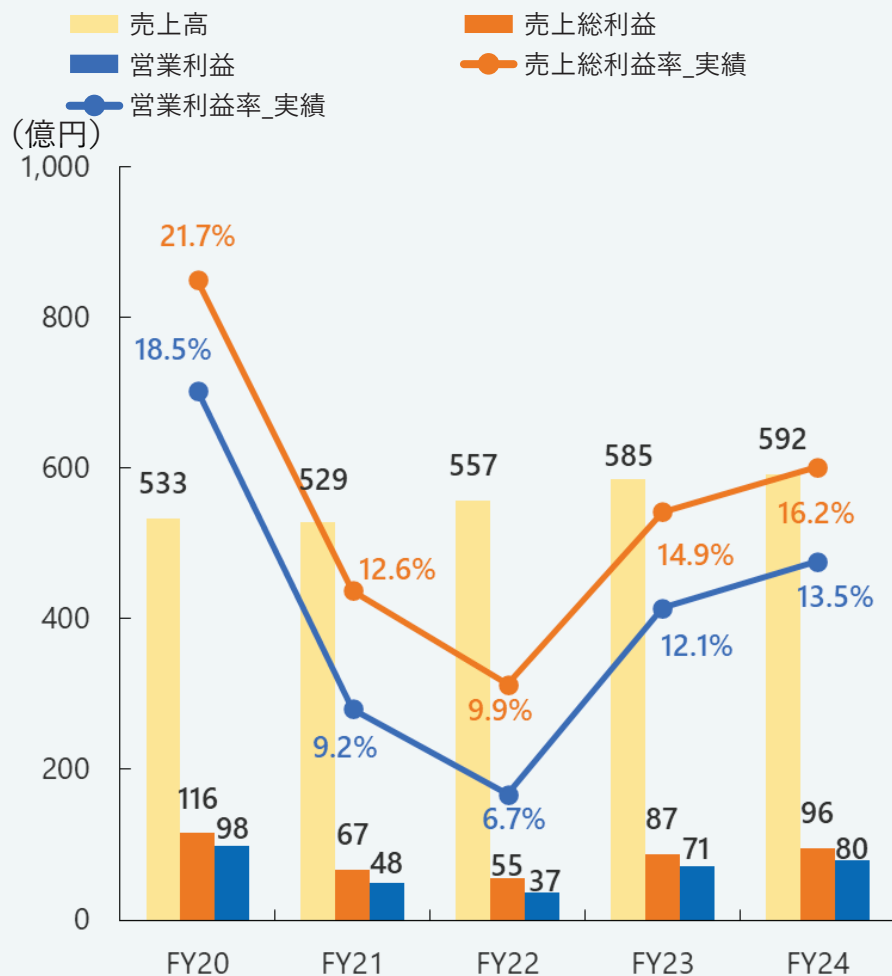
舗
装

機
械

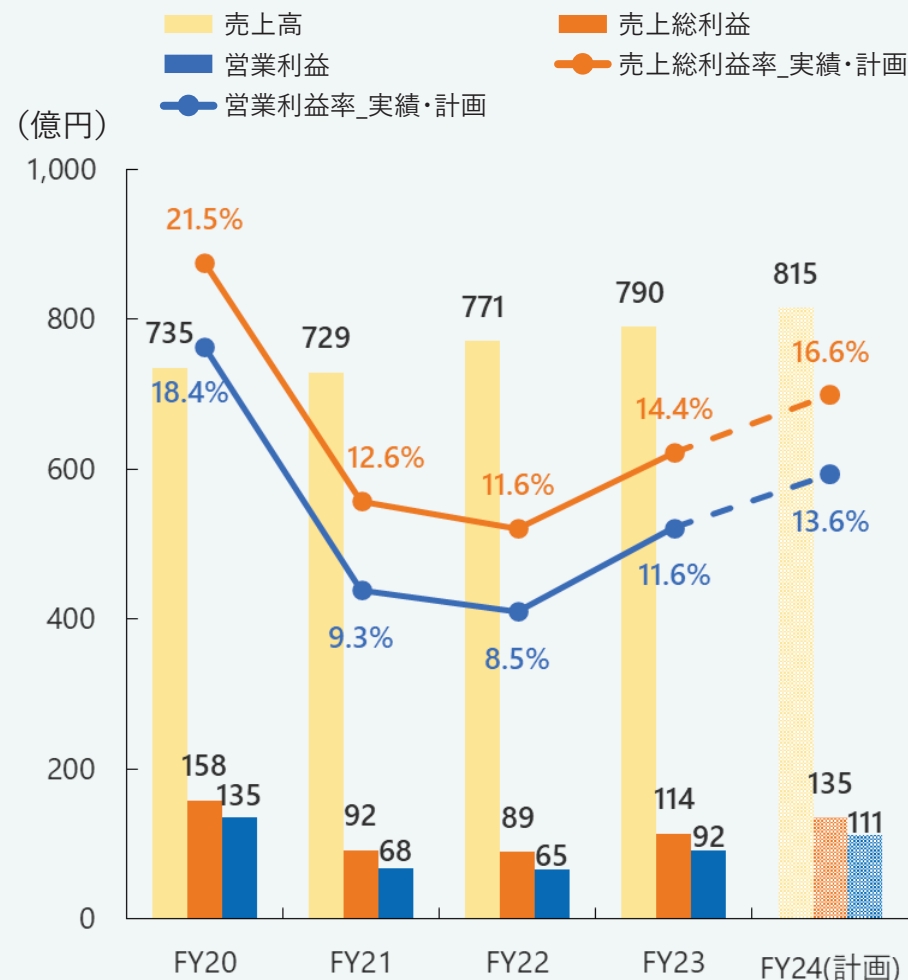
4-3. 【前田道路 連結 製造販売事業】 売上高、売上総利益、営業利益の推移

- FY24 3Q 価格転嫁の進捗と原材料費の落ち着きにより、**前年同期比増収増益**
- FY24通期 外部環境に応じた適切な合材販売単価を設定することで、通期計画達成を目指す

第3四半期



通 期*



上記数値は、前田道路の従来の連結数値であり、インフロニアグループ内の連結消去を考慮していない

建築

土木

インフラ・MK

インフラ・JWD

舗装

機械

セグメント別ハイライト

建築
前田建設

土木
前田建設

インフラ運営
前田建設（連結）

インフラ運営
日本風力開発（連結）

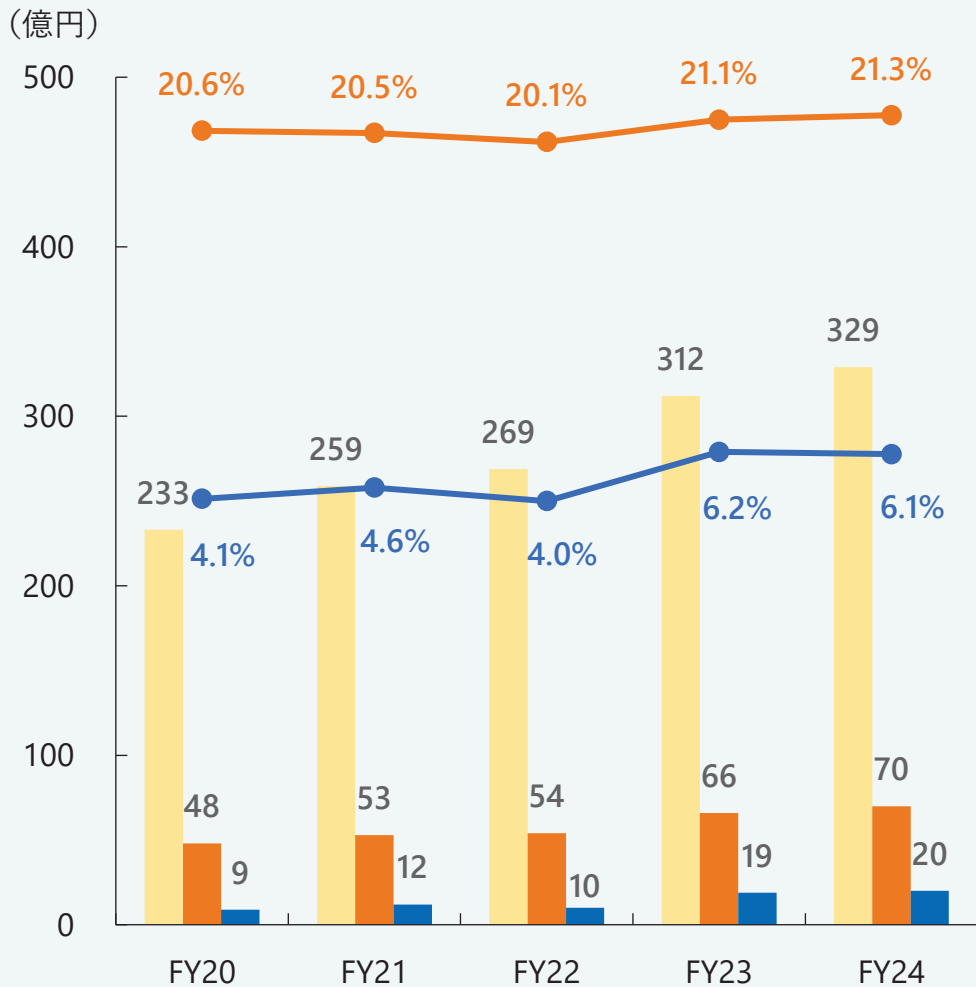
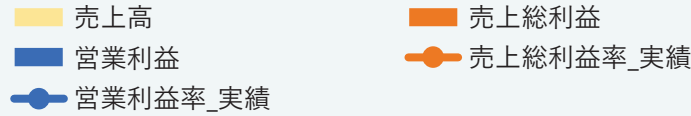
舗装
前田道路（連結）

機械
前田製作所（連結）

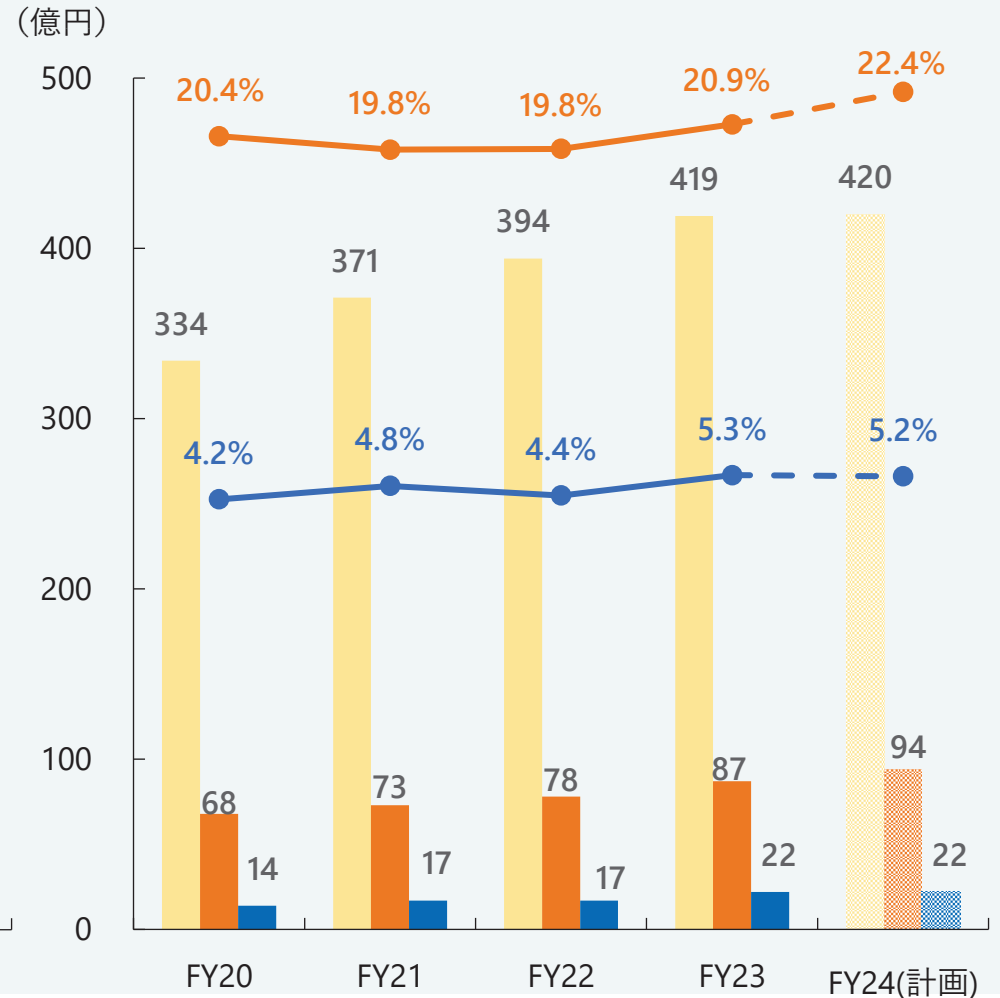
5-1. 【前田製作所 連結】 売上高、売上総利益、営業利益の推移

- FY24 3Q コマツ製品・自社製品の販売が堅調に推移し、**前年同期比 増収増益**
- FY24通期 受注状況は順調に推移しており、**通期計画は達成**の見込み

第3四半期



通 期



建築

土木

インフラ・MK

インフラ・JWD

舗装

機械

5-2.【前田製作所 建設機械、産業・鉄鋼機械】 売上高、売上総利益、営業利益の推移※1

機械

INFRONEER Holdings Inc.

- FY24 3Q 建設機械は1Qの大型機械販売がここまでの業績を大きく牽引。産業・鉄構機械はクローラクレーンを中心に自社製品の販売が堅調に推移し、いずれも**前年同期比 増収増益**
- FY24通期 受注状況から**通期計画は達成する**見込み。高付加価値製品を中心に展開し受注量増加を目指す

建築

土木

インフラ・MK

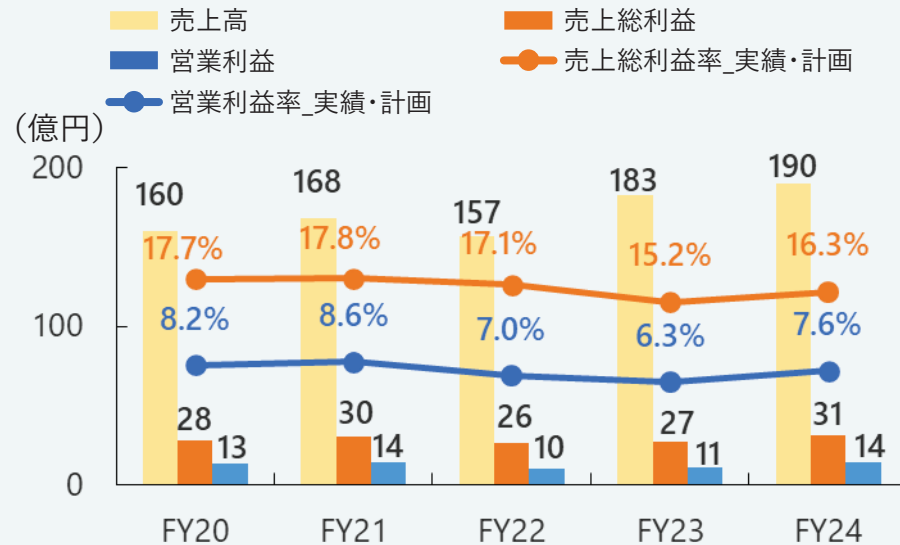
インフラ・JWD

舗装

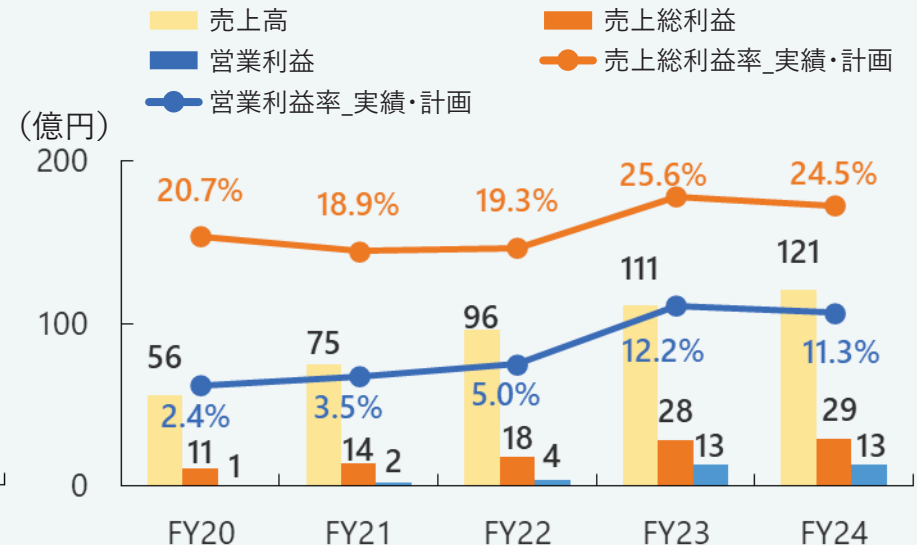
機械

第3
四半期

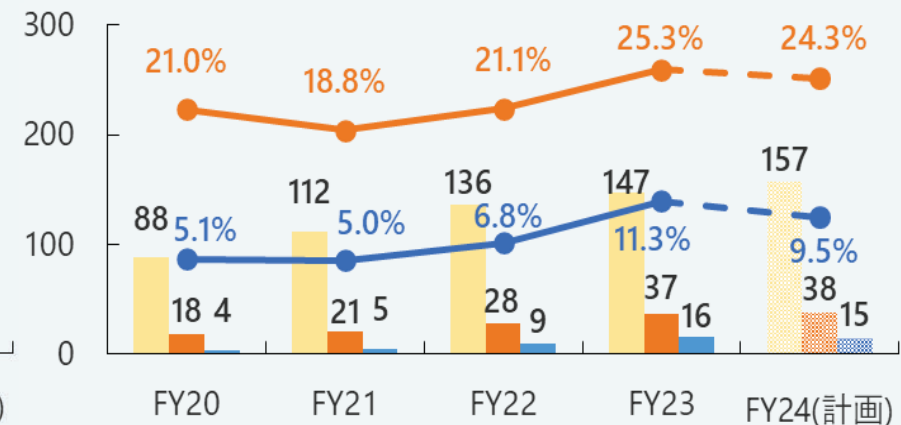
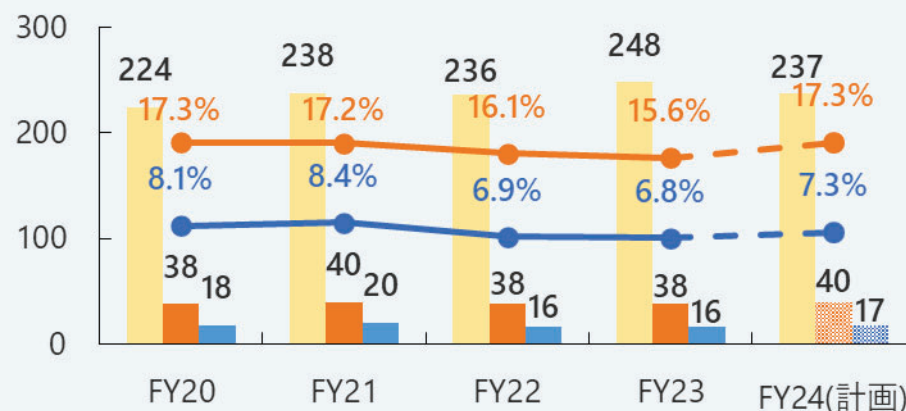
建設機械※2



産業・鉄構機械等※3



通期



※1 機械セグメントの内、主要事業である建設機械事業、産業・鉄構機械等事業の数値
 ※2 コマツ製品の販売・サービス・レンタルを主体とした事業

※3 クレーン等自社製品の設計・製造・販売を主体とした事業

業績数值

1. 前田建設【個別】 FY24 3Q実績と通期計画（インフラ運営のSPCは含まず）

INFRONEER Holdings Inc.

(億円)

		FY23 3Q実績	FY24 3Q実績	前年同期比	FY24 通期計画 当初	FY24 修正計画 3Q時	進捗率
売上高		3,067	3,215	148	4,584	4,913	65.4%
建築	計	1,793	2,182	389	2,985	3,384	64.5%
	国内	1,786	2,134	349	2,925	3,314	64.4%
	海外	8	47	40	60	70	67.7%
土木	計	1,262	1,020	△ 242	1,503	1,503	67.8%
	国内	1,258	1,018	△ 240	1,502	1,497	68.0%
	海外	4	2	△ 2	1	6	33.7%
インフラ運営		0	1	1	81	10	11.1%
不動産		12	12	0	15	16	76.7%
売上総利益		488 (15.9%)	404 (12.6%)	△ 84	681 (14.9%)	612 (12.5%)	66.1%
建築	計	123 (6.9%)	202 (9.3%)	79	313 (10.5%)	315 (9.3%)	64.1%
	国内	122 (6.9%)	197 (9.2%)	74	307 (10.5%)	307 (9.3%)	64.1%
	海外	1 (8.5%)	5 (11.0%)	5	6 (10.0%)	8 (11.4%)	65.4%
土木	計	360 (28.5%)	197 (19.3%)	△ 163	280 (18.6%)	280 (18.6%)	70.3%
	国内	360 (28.6%)	197 (19.3%)	△ 163	280 (18.7%)	281 (18.8%)	70.1%
	海外	0 (5.9%)	0 (0.5%)	△ 0	△ 0 -	△ 1 -	-
インフラ運営		0 (28.9%)	△ 0 -	△ 0	81 (100.0%)	10 (100.0%)	-
不動産		5 (40.7%)	6 (48.5%)	1	7 (46.7%)	7 (43.8%)	85.1%
一般管理費		246 (8.0%)	265 (8.2%)	19	358 (7.8%)	362 (7.4%)	73.2%
営業利益		242 (7.9%)	140 (4.3%)	△ 103	323 (7.0%)	250 (5.1%)	55.8%
経常利益		263 (8.6%)	176 (5.5%)	△ 87	339 (7.4%)	284 (5.8%)	62.0%
当期純利益		193 (6.3%)	166 (5.1%)	△ 28	248 (5.4%)	272 (5.5%)	60.9%

2. 前田道路【連結】 FY24 3Q実績と通期計画

INFRONEER Holdings Inc.

(億円)

	FY23 3Q実績	FY24 3Q実績	前年 同期比	FY24 通期計画 当初	FY24 修正計画 3Q時	進捗率
売上高	1,867	1,948	81	2,615	2,669	73.0%
建設事業	1,276	1,350	74	1,800	1,855	72.8%
製造販売	585	592	6	815	815	72.6%
その他	5	7	1	-	-	-
売上総利益	241 (12.9%)	276 (14.2%)	36	375 (14.3%)	375 (14.1%)	73.7%
建設事業	152 (11.9%)	180 (13.3%)	28	239 (13.3%)	240 (12.9%)	74.9%
製造販売	87 (14.9%)	96 (16.2%)	9	136 (16.7%)	135 (16.6%)	71.1%
その他	2 (31.9%)	1 (12.2%)	△ 1	-	-	-
一般管理費	110 (5.9%)	127 (6.5%)	17	178 (6.8%)	178 (6.7%)	71.5%
営業利益	130 (7.0%)	149 (7.7%)	19	197 (7.5%)	197 (7.4%)	75.7%
経常利益	133 (7.1%)	153 (7.8%)	20	199 (7.6%)	199 (7.5%)	76.8%
当期純利益	91 (4.9%)	103 (5.3%)	12	132 (5.0%)	132 (4.9%)	78.1%

3. 前田製作所【連結】 FY24 3Q実績と通期計画

INFRONEER Holdings Inc.

(億円)

	FY23 3Q実績	FY24 3Q実績	前年 同期比	FY24 通期計画 当初	FY24 修正計画 3Q時	進捗率
売上高	312	329	18	420	修正なし	78.4%
建設機械	183	190	7	237		80.3%
産業・鉄鋼機械等	112	122	10	157		77.6%
介護用品・その他	17	17	1	25		68.6%
売上総利益	66 (21.1%)	70 (21.3%)	4	94 (22.4%)		74.5%
建設機械	28 (15.2%)	31 (16.3%)	3	40 (16.9%)		77.7%
産業・鉄鋼機械等	29 (25.6%)	30 (24.5%)	1	38 (24.2%)		78.5%
介護用品・その他	9 (55.5%)	9 (53.2%)	△ 0	14 (56.0%)		65.2%
一般管理費	46 (14.8%)	50 (15.2%)	4	72 (17.1%)		69.5%
営業利益	19 (6.2%)	20 (6.1%)	0	22 (5.2%)		90.7%
経常利益	21 (6.8%)	21 (6.5%)	0	23 (5.5%)		92.9%
当期純利益	16 (5.1%)	15 (4.6%)	△ 1	15 (3.6%)		101.4%

4. 日本風力開発【連結】 FY24 3Q実績と通期計画

INFRONEER Holdings Inc.

(億円)

	FY23 3Q実績	FY24 3Q実績	前年 同期比	FY24 通期計画 当初	FY24 修正計画 3Q時	進捗率
売上高	—	38	—	87	63	60.4%
開発	—	14	—	64	39	37.2%
O&M	—	20	—	20	20	102.7%
その他	—	3	—	4	4	77.5%
売上総利益	—	6 (16.8%)	—	55 (62.6%)	30 (47.8%)	21.3%
開発	—	0 (0.4%)	—	44 (68.4%)	19 (48.2%)	0.3%
O&M	—	5 (25.5%)	—	10 (51.6%)	10 (51.6%)	50.8%
その他	—	1 (37.2%)	—	1 (24.9%)	1 (24.9%)	115.7%
一般管理費	—	30 (79.4%)	—	39 (45.1%)	39 (62.9%)	76.1%
営業利益	—	△ 24	—	15 (17.5%)	△ 9	—
経常利益	—	△ 26	—	15 (17.7%)	△ 9	—
当期純利益	—	△ 28	—	10 (11.2%)	△ 10	—

5.主なグループ会社のFY24 3Q実績と通期計画

- FY24 3Q **前年同期比増収減益**
- FY24通期 売上高および利益額において**計画達成の見込み**

前田建設工業

(百万円)

連結子会社 (その他セグメント)	株エフビーエス ※1				フジミ工研(株) ※1				株JM ※2			
	FY23 3Q実績	FY24 3Q実績	FY24 当初計画	FY24 修正計画	FY23 3Q実績	FY24 3Q実績	FY24 当初計画	FY24 修正計画	FY23 3Q実績	FY24 3Q実績	FY24 当初計画	FY24 修正計画
売上高	10,475	13,324	16,000	17,706	9,086	8,657	13,490	13,556	17,820	17,166	26,000	25,000
営業利益	118	276	250	304	244	76	513	267	209	△ 209	600	200
経常利益	130	293	265	321	314	139	587	337	230	△ 185	620	220
当期純利益	92	207	173	200	449	△ 3	401	168	168	△ 224	340	155

持分法 適用会社	東洋建設(株) ※2				光が丘興産(株) ※2			
	FY23 3Q実績	FY24 3Q実績	FY24 当初計画	FY24 修正計画	FY23 3Q実績	FY24 3Q実績	FY24 当初計画	FY24 修正計画
売上高	121,049	104,484	165,000	157,000	2,993	3,244	4,000	4,450
営業利益	6,339	4,957	10,000	10,000	652	728	610	1,000
経常利益	5,900	4,767	9,700	9,700	2,764	2,456	2,340	2,730
当期純利益	4,002	3,629	7,000	7,000	2,223	1,989	1,670	2,020

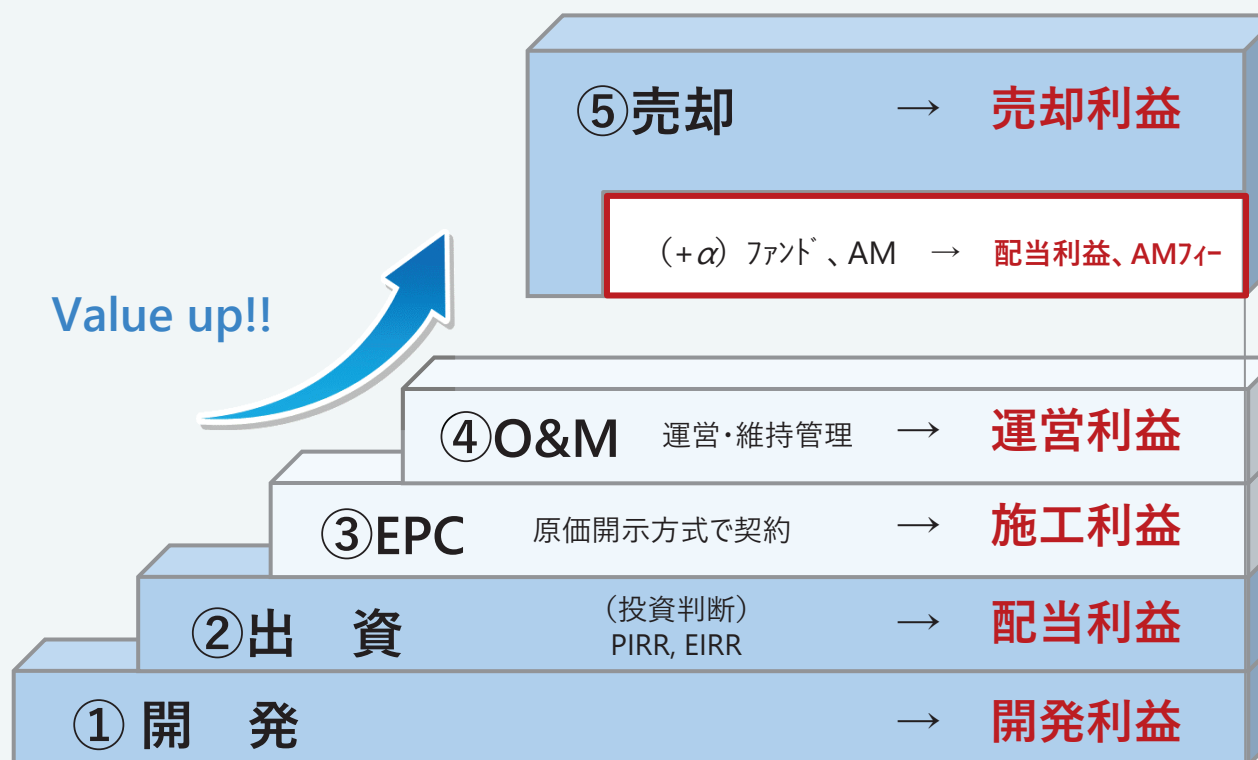
※1 日本基準・各社の連結

※2 日本基準・単体

【補足資料】 インフラ運営事業のビジネスモデル

INFRONEER Holdings Inc.

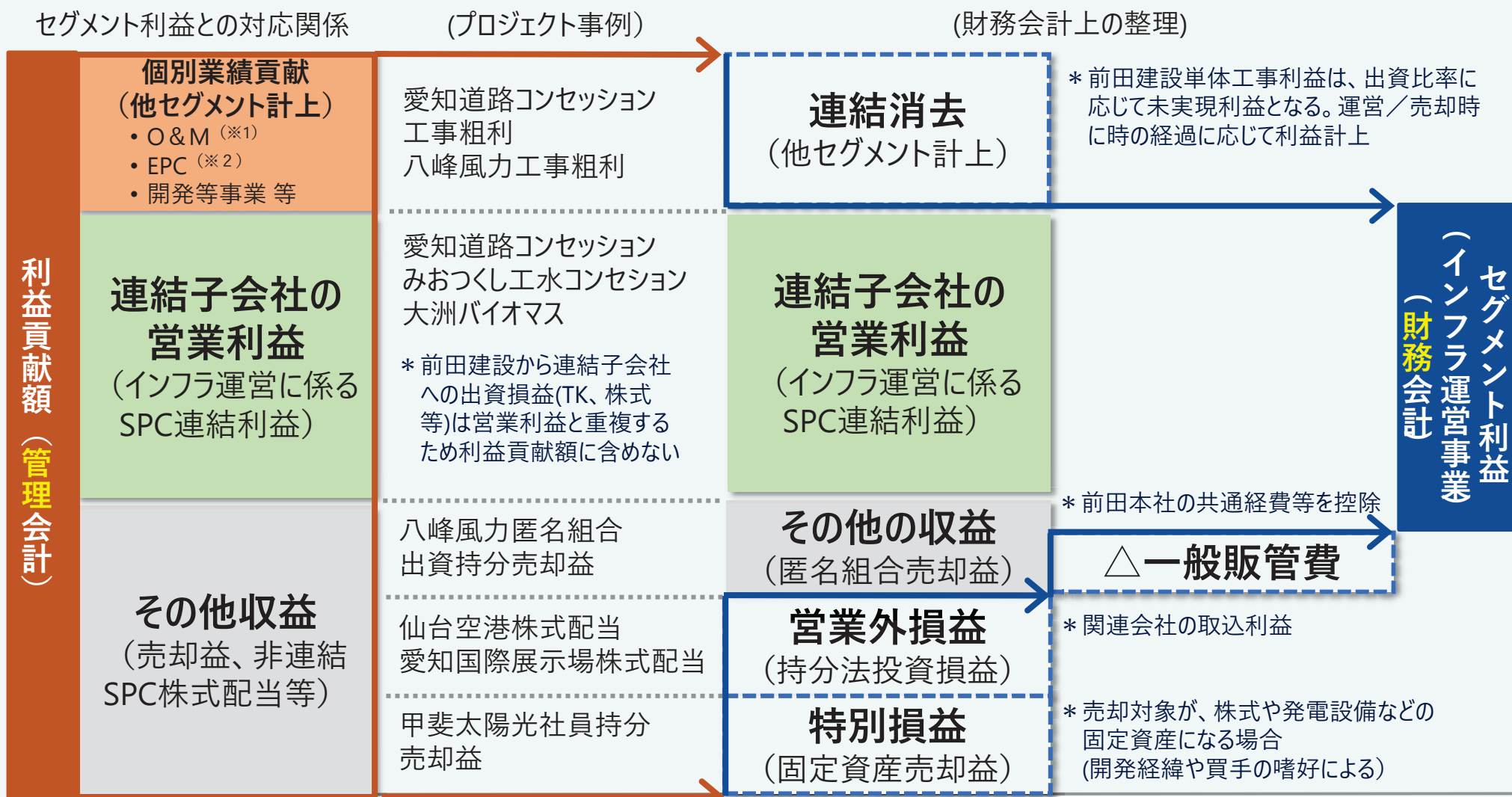
- インフラ運営事業は、インフラの上流～下流（売却までを含める）までの全ての段階（①～⑤）で、収益を獲得するビジネスモデルである



- 事業から5段階 + αで収益を獲得
- 施工ノウハウの強みを活かす（開発、EPC、O&M）

【補足資料】 インフラ運営セグメント「利益貢献額」と「セグメント利益」の違いについて

- 「利益貢献額」は、連結子会社個別の工事粗利、その他収益、営業利益を合計した**管理会計上の実質的な貢献額**。出資比率や売却スキームにより、連結上の利益表示箇所が異なることを考慮したもの
- 連結財務諸表の「セグメント利益(インフラ運営事業)」は、利益貢献額に含まれる工事利益などを連結消去し、管理部門の共通経費を控除した**財務会計上の営業利益**で、営業外/特別損益を計上する前の値



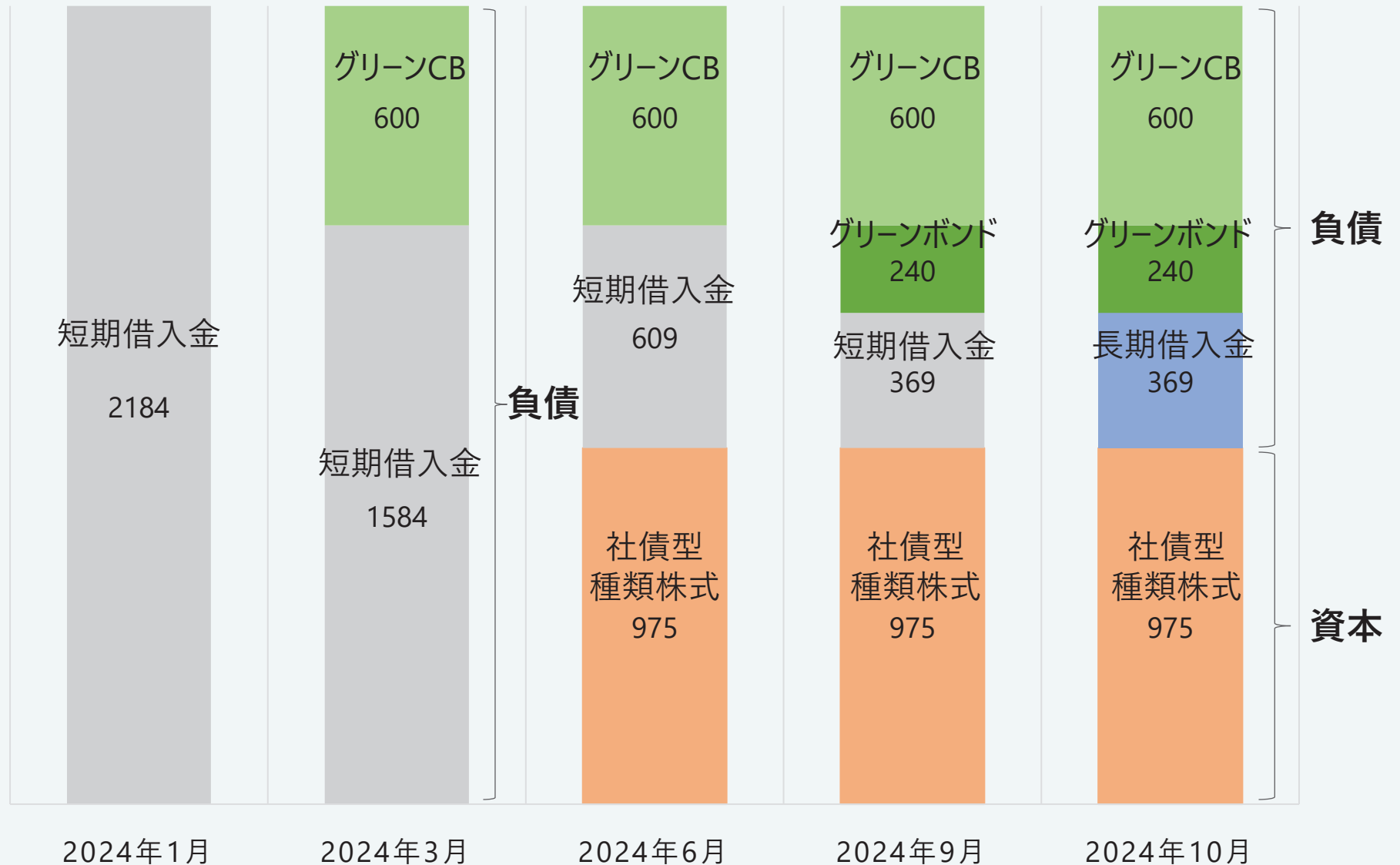
※利益貢献額では、前田本社共通経費等の一般管理費を考慮していない

※1 O&M インフラ施設の運転保守管理業務等
 ※2 EPC インフラ運営事業に伴う新築工事 大規模修繕工事等

【補足資料】 JWD連結子会社化のためのブリッジローンの借り換え

INFRONEER Holdings Inc.

【億円】



インフロニアWEBサステナビリティページを充実化 & Integrated Report2024（英語版）を発行しました！

インフロニアWEBサステナビリティページ

統合報告書で開示しきれなかった情報もWEBサイトで公開しています。

サステナビリティページ



<https://www.infroneer.com/jp/sustainability/>



事業会社トップメッセージ フルバージョンを公開中！

WEB限定ページ



ESGデータ

ESGデータをまとめて掲載



生物多様性 タイムライン

生物多様性の取り組みを時系列で紹介



事業セグメント 紹介

事業セグメントの取り組み事例や社員の声を掲載

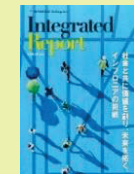
Integrated Report2024

英語版



(発行日：2024年11月28日)

日本語版



(発行日：2024年9月30日)

統合報告書2024WEB版は記載の

QRコード/URLよりダウンロードください。

https://www.infroneer.com/jp/sustainability/integrated_report/

https://www.infroneer.com/en/company/integrated_report/



日本語版

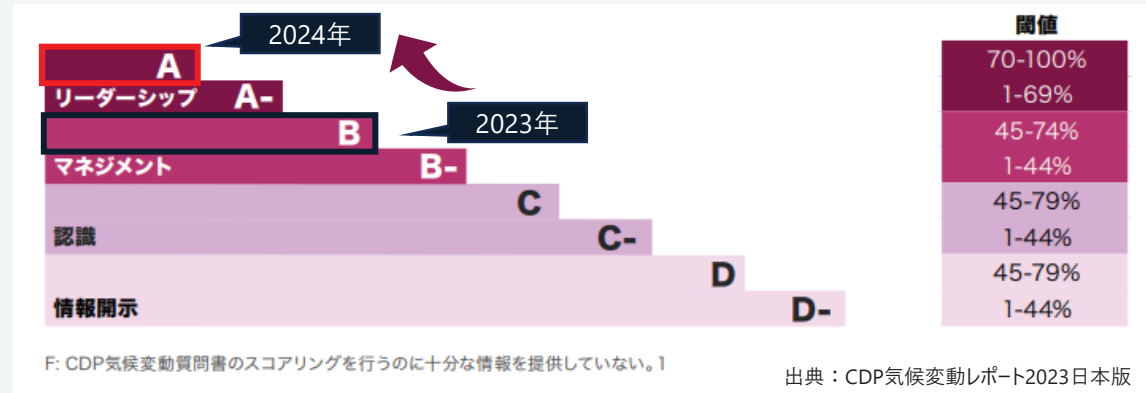


英語版

CDP「気候変動」部門において最高評価のAリスト*に初めて選定されました！

*回答企業の取り組みを「A、A-、B、B-、C、C-、D、D-」の8段階で評価し、（情報開示を行わない、あるいは十分な情報を提供しない企業はF）、最高ランクのAを獲得した企業は「Aリスト」に選定されます。なお、当社は2023年B評価でした。

Aリストに選出されることは、気候変動対策において世界をリードする企業として認められたことを意味します。



【参考】2023年は、プライム上場企業でAリストに選定された企業が103社。回答企業全体に占めるAリスト企業の比率は約9%

CDPとは

- CDPは、2000年に英国で設立された国際環境非政府組織で、企業や自治体の環境情報開示システムを運営し、**主要企業の温室効果ガスの排出量や、気候変動がもたらすリスク・機会などに関する環境問題への対応状況を評価しています。**
- 2024年には全世界で24,800社を超える企業が回答し、日本企業はプライム市場上場企業の70%以上を含む2,100社以上が回答しています。
- CDPのデータは、**SBT、RE100などのイニシアチブや機関投資家など、様々なステークホルダーによって活用**されています。

評価されたと考えられるインフロニアグループの取り組み

「インフロニアグループサステナビリティ調達方針」および「インフロニアグループサステナビリティ調達ガイドライン」を策定

TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）に沿った財務影響分析情報を公開

温室効果ガス排出削減目標のSBT認定の取得

前田道路による低炭素アスファルト合材（ecole）の拡販

前田建設による建築物のライフサイクル排出量の評価

グループ全体での再生可能エネルギーの積極的な活用（再生可能エネルギー利用率62%）

News1

バスケットリーグ（BIリーグ）始動 ～バスケとインフラで地域を支え、盛り上げるファン・市民参加型競技～

インフロニアでは、B.LEAGUEとともに、クラブとファン・市民の皆さまが一体となって、バスケットボールやB.LEAGUEクラブがある地域を支え、盛り上げるための参加型競技（ゲーム）「バスケットリーグ（BIリーグ）」を今期初開催しています。BIリーグは、「バスケットボールリーグ部門（B.LEAGUE）」と「インフラリーグ部門」の2つから構成され、両部門の順位を合算してBIリーグの総合優勝クラブを決定します。

今シーズンのインフラリーグでは、「バスケットゴールがある街の風景を投稿して応援するクラブを優勝へ導こう！」をスローガンに、11月～12月にB1,B2の全38クラブを対象にXによる投稿を募集、5500件を超える投稿をいただきました。投稿された情報を基に「あなたの街のバスケットゴール数」を把握、バスケットボールに関連するインフラを見える化し、今後の地域のバスケットボール関係人口の増進や地域の活性化に繋がる予定です。結果発表及び表彰はシーズン終了後の春頃を予定しています。

また、B.LEAGUE主催のイベントにおいて会場周辺のシティドレッシングと連携した企画や、若手育成の一環としてインフロニア B.LEAGUE U18 ALL-STAR GAMEにおける本取組の特別企画なども実施しています。今後もBIリーグへのご参加と応援をよろしくお願いいたします。

©B.LEAGUE ©INFRONEER



BIリーグ関連URL : <https://www.infoinf.com/jp/collect/index.html>

News2

個人投資家セミナーとIRDAYを開催いたしました

名古屋（11月29日）、大阪（12月18日）、東京（1月22日）の3会場で個人投資家セミナーを開催。インフラを取り巻く社会課題やインフロニアの目指す未来像についてご紹介し、多くの反響をいただきました。1月22日に行われました東京会場の様子を日本証券新聞公式You Tubeチャンネルで配信しておりますのでご覧ください。

また、1月23日に第2回インフロニアIRDAYを開催し、インフラ運営のビジネスモデルと当社が目指す収益基盤の確立についてご説明し、大変な反響をいただきました。

インフロニアのホームページ上で資料を公開しておりますのこちらも是非ご覧ください！



個人投資家向け会社説明会
2025年1月22日in東京
INFRONEER Holdings Inc.
インフロニア・ホールディングス
(5076・東証プライム)

▲個人投資家セミナー-@東京



▲IRDAY



▲個人投資家セミナー
配信映像



▲IRDAY資料

News3

Kibe-log 岐ベログ

インフロニア・ホールディングスが何を考え、どういう社会の実現を目指しているのかを全てのステークホルダーにお伝えするため、社長の岐部が考えていることを発信していきます。

岐ベログURL : <https://www.infroneer.com/jp/company/topblog.html>



岐ベログ

～バックナンバー～

- 第10回：チャレンジする社風
- 第11回：ヘルメット時代に学んだ技術と金融の融合
- 第12回：仕事の自由と説明責任
- 第13回：日本風力開発を買収した理由
- 第14回：バリュエーション（価値評価）の裏側にある思想
- 第15回：デリダの「脱構築」から読み解く「脱請負」
- 第16回：経営者に必要な構想力と戦闘力

【注意事項】

本資料に記載されている業績数値は、決算短信の数字を億円単位とし、四捨五入しております。
また、業績計画等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は、様々な要素により記載の数値とは異なる結果となる可能性があります。

インフラの未来に挑む
Challenge the status quo

 **INFRAFRONTIER Holdings Inc.**